

霞ヶ浦北浦の水産

令和7年10月

茨城県

目 次

トピックス

- ① シラウオのブランド「霞ヶ浦 瞳のしらうお」が誕生しました！ ······ I
 - ② 霞ヶ浦産 アメリカナマズの試験販売を行いました！ ······ ······ II
 - ③ 霞ヶ浦北浦の魚介類食文化「100年フード」に認定！ ······ ······ III
 - ④ 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会 第23期委員について ······ ······ IV
-

1. 霞ヶ浦北浦の概況	1
2. 漁業及び養殖生産	3
3. 水産資源の増殖及び環境保全対策	8
4. 資源管理型漁業の推進	10
5. 漁業制度	13
6. 水産物流通加工	16
7. 漁船と漁港・船溜	24
8. 水産業団体及び組合員	25
9. 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会等の概要	28
10. 霞ヶ浦北浦に関わる県の機関及び各種団体	30
11. 資料（霞ヶ浦北浦海区の漁場図）	33
12. 資料（霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移）	35

トピックス①

シラウオのブランド「霞ヶ浦 暁のしらうお」が誕生しました！

霞ヶ浦は日本で二番目の広さを誇る湖沼であり、日本有数のシラウオの産地です。獲れたてのシラウオは透き通っていますが、時間の経過とともに白くなってしまうため、これまで获れたての透明感は漁師しか見ることができませんでした。

そこで、この透明感を消費者に伝えるべく、霞ヶ浦漁業協同組合と県水産試験場が共同研究を行い、获れたての鮮度・透明感を維持できる品質保持技術を開発し、令和6年11月、ついに圧倒的な透明感とぷりぷりとした食感が特長のシラウオのブランド「霞ヶ浦 暁のしらうお」が誕生しました(図1)。



図1 霞ヶ浦 暁のしらうお

「霞ヶ浦 暁のしらうお」の目印は、ブランド名の由来である「漁の時に見られる夜明けの太陽」をイメージしたロゴマークになっており、令和6年11月6日には、生産・販売を行う霞ヶ浦漁業協同組合が大井川知事を表敬訪問し、生産した「霞ヶ浦 暁のしらうお」とともに、このロゴマークのお披露目を行いました(図2)。

「霞ヶ浦 暁のしらうお」の生産は、ブランド品質保持のため短時間で少量を漁獲し、高附加值・高単価で販売する取組のため、シラウオの資源保護と持続可能な漁業にも繋がる取組になっています。

霞ヶ浦漁業協同組合では、引き続き「霞ヶ浦 暁のしらうお」の認知度を高めるためのPRやHPでの販売事業にしっかりと取り組んでいく意向です。



図2 知事表敬訪問の様子

トピックス②

霞ヶ浦産 アメリカナマズの試験販売を行いました！

霞ヶ浦北浦では、近年高水温等の影響を受け、ワカサギ等の有用水産資源の漁獲量が減少傾向にあり、漁業収益の確保が課題となっています。

一方で、資源量は多いものの活用されていないアメリカナマズ(図1)等の魚(未利用魚)については、混獲物の一部が魚粉原料として引き取られているものの、漁業収益に繋がっておらず、その有効活用が課題となっています。

そこで、県と霞ヶ浦漁業協同組合が連携し、霞ヶ浦のアメリカナマズについて、加工品原料等の食用出荷による有価物化を推進し、資源の有効活用と新たな漁業収益の創出を図る取組を始めました。



図1 アメリカナマズ

令和6年度は、沿海地区の水産加工会社(5者)の協力を得て、フィレ等の一次加工品(図2)の製造や唐揚げ、煮物等の試作を行いました(図3)。また、令和7年2月からは、14店舗の小売店や飲食店等にフィレを提供し、試験販売を実施しました。



図2 アメリカナマズの凍結フィレ



図3 アメリカナマズのフライ

試験販売とともに実施した求評の結果によれば、消費者・事業者とも食味に対しては「美味しい」、「小骨が無く食べやすい」といった、高評価でした。一方で、消費者からは「どのように調理して食べたらいいのかわからない」、「ナマズという名前に対して抵抗感がある」といった意見があり、事業者からは「適切な原価基準が分からぬ」という意見がありました。

今回の取組で、アメリカナマズの食味については高評価であり、食用利用に対して期待が持てたため、引き続き県と霞ヶ浦漁業協同組合が連携し、得られた課題を踏まえ、霞ヶ浦のアメリカナマズを商流に乗せるため、取り組んでまいります。

トピックス③

霞ヶ浦北浦の魚介類食文化「100年フード」に認定！

文化庁では、我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、地方自治体・団体等とともに継承していく取組を実施しています。

このような中、霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合は、煮干しや佃煮をはじめとする地元の水産加工品を、江戸時代から受け継がれてきた郷土の食文化として「伝統の100年フード部門」に応募し、令和7年3月14日に「100年フード」の認定を受けました(図1)。

【100年フードとは】

●次の3つの認定基準を満たし、有識者委員会により認定された食文化のこと。

1. 地域の風土や歴史・風習の中で個性を活かしながら創意工夫され、育まれてきた地域特有の食文化
2. 地域において、世代を超えて受け継がれ、食されてきた食文化
3. その食文化を、地域の誇りとして、100年を超えて継承することを宣言する団体が存在する食文化

【知事表敬訪問】

令和7年5月27日（火）に、今回の認定を受けた霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合が茨城県知事を表敬訪問し、認定取得の報告とともに、今後の取組について意気込みを語りました(図2)。



霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合

図1 認定証



図2 表敬訪問の様子

トピックス④

霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会 第23期委員について

霞ヶ浦北浦は漁業法に基づく海区指定を受け、昭和25年8月に霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会が設置され、現在、第23期となっております。

委員選任については、漁業法の改正によって第22期より、公募による知事選任制に変更されており、第23期は、令和6年9月以降、関係団体（漁協、大学、研究機関、各種団体等）に候補者の推薦を依頼し、11～12月に県のホームページで公募しました。その後、各団体より推薦のあった候補者から委員の選任案を作成し、令和7年第1回定例会で議案（人事案）を提出し、県議会の同意を得て、令和7年4月1日付で任命となっております。

特に、第23期の公募にあたっては、第2次茨城県総合計画（2022-2025）において、「女性が輝く社会の実現のため、行政委員会等の女性委員の割合を50%にする」を目標としていることから、関係団体に女性候補者の積極的な推薦を依頼しました。その結果、委員定数12名のうち、女性委員が6名となり、目標の50%を達成することができました。現時点で、女性委員の割合は全国第1位です。

なお、第23期の委員会の運営においては、新任委員が7名と多いことから、協議事項等について、丁寧な説明を心がけております（図1）。



図1 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会 第23期の初会議（令和7年4月25日）

1 霞ヶ浦北浦の概況

霞ヶ浦北浦は外浪逆浦などを含めると 220 km^2 の面積を有する全国第 2 位の湖であり、平均水深は 4 m と「広くて浅い」といった特性を持つ（表 1）。

表 1 霞ヶ浦北浦の諸元

成因	海跡湖
湖沼類型	富栄養湖
水面標高	Y.P. + 1.1m (夏期)、+ 1.3m (冬期) ※Y.P. = T.P. - 0.840m
全流域面積	2,156.7 km ² (茨城県全体の約 35%)
湖面積	220 km ² (霞ヶ浦 172 km ² 北浦 36 km ² その他 12 km ²)
湖岸線距離	262.9 km (霞ヶ浦 120.6 km 北浦 74.2 km その他 68.1 km)
水深	平均 : 4 m、最大 : 7 m
貯水容量	約 9.1 億 m ³ (Y.P. + 1.3m)
沿岸市町村	13 市町村 (茨城県 10 市 1 町 1 村、千葉県 1 市)

(国土交通省霞ヶ浦河川事務所資料)

ワカサギ、シラウオ、ハゼ類、エビ類等の水産資源に恵まれていることから、古くから多種多様な漁業が盛んで、また網いけすを用いた小割式養殖業のほか淡水真珠養殖業も行われており、豊富な漁獲物から佃煮や煮干しなどを製造する水産加工業も発展している国内有数の水産業が盛んな地域である。一方、首都圏に近い手軽なレジャースポットとして、コイ、フナ、ブラックバスなどを対象とした遊漁（釣り）を始め、ヨット、ウインドサーフィン、水上スキー等の湖上レジャーも盛んである。

令和 5 年の霞ヶ浦北浦の漁獲量は 552 トン、うちワカサギは 4 トン（約 1%）、シラウオは 37 トン（約 7%）、エビ類は 79 トン（約 14%）、と、3 魚種で全体の約 2 割を占める。茨城県はワカサギが全国 5 位、シラウオが全国 2 位、エビ類が全国 1 位の漁獲量となっており、そのほとんどは霞ヶ浦北浦産である（図 1、表 2）。

また、コイ養殖業も盛んであり、茨城県は全国 1 位の収穫量で、その全てが霞ヶ浦北浦産である。

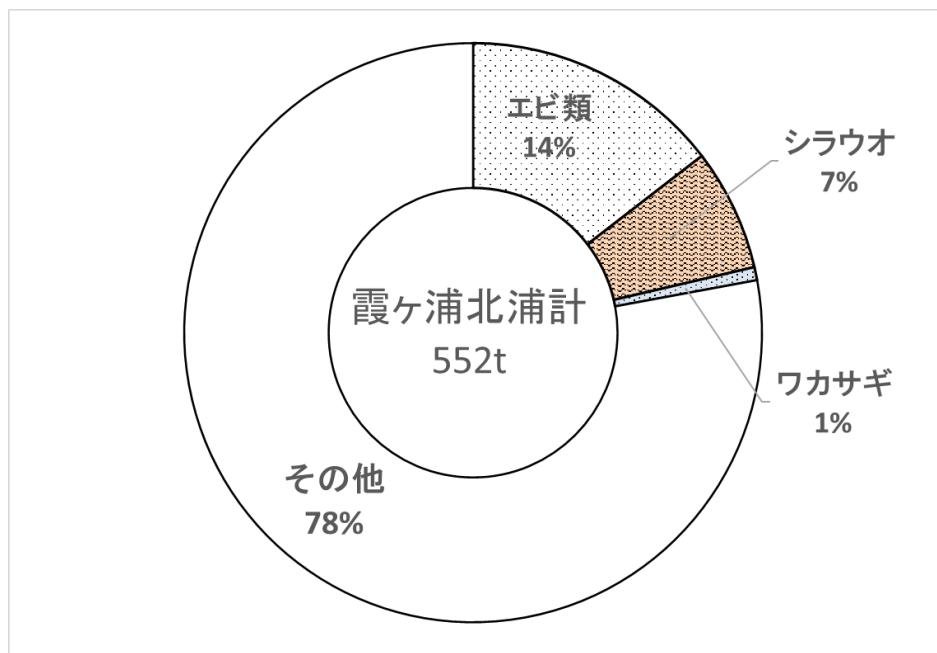


図 1 令和 5 年漁獲量の魚種別割合（霞ヶ浦北浦計）

(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))

表2 主要魚種別漁獲量・収穫量（内水面）・都道府県別順位（令和5年） (単位：トン)

	ワカサギ	シラウオ	エビ類	コイ養殖
全国	585	200	158	1,725
1位	青森 268	青森 144	茨城 80 (うち霞北 79)	茨城 667
2位	秋田 120	茨城 38 (うち霞北 37)	北海道 11	長野 96
3位	北海道 83	北海道 9	岡山 6	群馬 72
4位	大分 6	秋田 9	青森 5	山形 40
5位	茨城 4 (うち霞北 4)	島根 2	福岡 4	新潟 3

(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))

表3 近年の魚種別漁獲量

(単位：トン)

地区	魚種	R1	R2	R3	R4	R5
霞ヶ浦	ワカサギ	118	72	34	16	4
	シラウオ	154	179	145	142	32
	コイ	-	0	0	0	0
	フナ	0	0	0	0	0
	ウナギ	1	0	0	0	0
	ハゼ類(ゴロ)	2	1	0	1	2
	エビ類	133	87	36	19	79
北浦	ワカサギ	1	1	0	0	0
	シラウオ	7	8	7	8	5
	コイ	2	2	2	2	2
	フナ	3	3	4	4	5
	ウナギ	0	0	0	0	0
	ハゼ類(ゴロ)	0	-	-	-	-
	エビ類	0	0	0	0	0

(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))

表4 近年の漁業種類別漁獲量

(単位：トン)

地区	漁法	R1	R2	R3	R4	R5
霞ヶ浦	底びき網	666	597	524	428	464
	刺網	0	0	0	0	0
	張網	16	26	11	17	16
	その他	1	1	0	0	0
	合計	683	623	536	445	480
北浦	底びき網	44	21	19	14	16
	刺網	2	2	2	2	1
	張網	1	25	36	37	55
	その他	0	0	0	0	0
	合計	46	47	57	53	72

(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))

2 漁業及び養殖生産

(1) 漁業生産量の推移

霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移を図2（魚種別生産量）及び図4（漁業種類別生産量）に、各年代ごとの生産量の割合を図3（魚種別生産量）及び図5（漁業種類別生産量）に示した。

①昭和41年以前【代表年：昭和40年（ワカサギの漁獲が最高を記録）】

ワカサギ及びシラウオが主な漁獲対象で、風力を用いた帆びき網漁で漁獲され、ワカサギが総生産量の24%を占める主要な魚種であった。常陸川水門は昭和39年に運用が開始されたが、完全に閉鎖しておらず、まだ海水が遡上していたため、霞ヶ浦北浦の下流域ではシジミが漁獲され、総生産量の18%を占めていた。また、イサザアミ（当時はコマセと呼ばれていた）や淡貝（カラスガイ等）、タナゴ等の生産量が多かった。

淡貝は食用のほかボタンの材料としても利用されていた。シラスウナギの遡上が可能であったためウナギの生産量も多く、全生産額の10%を占め、漁業者の重要な収入源となっていた。

漁法では帆びき網のほか、大徳網などの伝統漁業、笹浸や延縄も盛んであった。

②昭和42年～昭和48年【代表年：昭和48年（生産量の増大期）】

富栄養化が進行し、エビ類、ハゼ類の生産量が増加したことにより、全体の生産量は10,000トンを超えるようになった。一方、ワカサギ、シラウオの生産量及び総生産量に占める割合は減少し、ワカサギ、シラウオを中心とした湖からエビ類、ハゼ類を中心とする湖へと変化した。シジミは1,000トンを超える漁獲があった。

風頼みの帆びき網から、より効率的な操業が可能な動力船を使用するわかさぎ・しらうおひき網（トロール）への転換が進み、現在も主要な漁法となっている。

③昭和49年～平成9年【代表年：昭和53年（生産量の極大期から減少期）】

昭和53年に総生産量はピークに達し、17,487トンを記録し、エビ類及びハゼ類の生産量は更に伸び、イサザアミを加えた3種が総生産量の64%を占めた。この3種を漁獲対象とするいさざ・ごろひき網漁業の生産量が大きく伸びた。

昭和53年以降、エビ類・ハゼ類が減少に転じ、生産量は漸減したが引き続きエビ類・ハゼ類中心の漁獲があり、平成9年まで、年間総生産量は常に4,000トンを超えていた。かつて主要な漁獲対象であったシジミは昭和53年までは、1,000トン以上の漁獲があったが、淡水化が進み、その後急減し平成2年には水揚げがなくなった。

生産量減少の原因は、①生息環境の悪化（生産容量の低下、植物プランクトン相の変化）、②有用種の繁殖育成場である水生植物帯の減少、③食文化の変化（食の欧米化、魚離れ、コイ、フナの需要低下など）、④外来魚の繁殖などの複合的な要因によるものと考えられた。

④平成 10 年～平成 22 年【代表年：平成 12 年（ワカサギ資源が著しく減少）】

平成 10 年以降はエビ類、ハゼ類の減少に歯止めがかからず、総生産量は 3,000 トンを下回り、低迷した。ワカサギ資源は低水準（平成 12 年 霞ヶ浦北浦計 51 トン）になり、エビ類、ハゼ類の減少も顕著であった。生産量が減少する一方で、販売の対象とならない魚（ボラ、ニゴイ及びアメリカナマズなど）の入網割合が高くなつていったことが漁業の衰退の一因となった。

平成 20 年以降は、引き続き低調ではあるものの、ワカサギやシラウオなど漁獲対象種の生産量が回復する傾向が見られた。

⑤平成 23 年～令和 5 年【東日本大震災による影響と気候変動の影響の顕在化】

前述の生産量の低迷が続いている中、平成 23 年の東日本大震災による被災と、福島第一原子力発電所事故による風評被害や出荷規制により需要が落ち込み、生産量が著しく減少した。平成 24 年の生産量は、前年（1,874 トン）を大幅に下回る 646 トンとなった。平成 25 年には生産量が増加に転じたものの、平成 26 年以降は横ばいで推移し、令和 5 年の生産量は 552 トンとなった。

近年では気候変動の影響も顕在化してきており、霞ヶ浦北浦にて続いているワカサギの不漁は、毎年続く猛暑と夏季の高水温によって引き起こされていると推察されている。

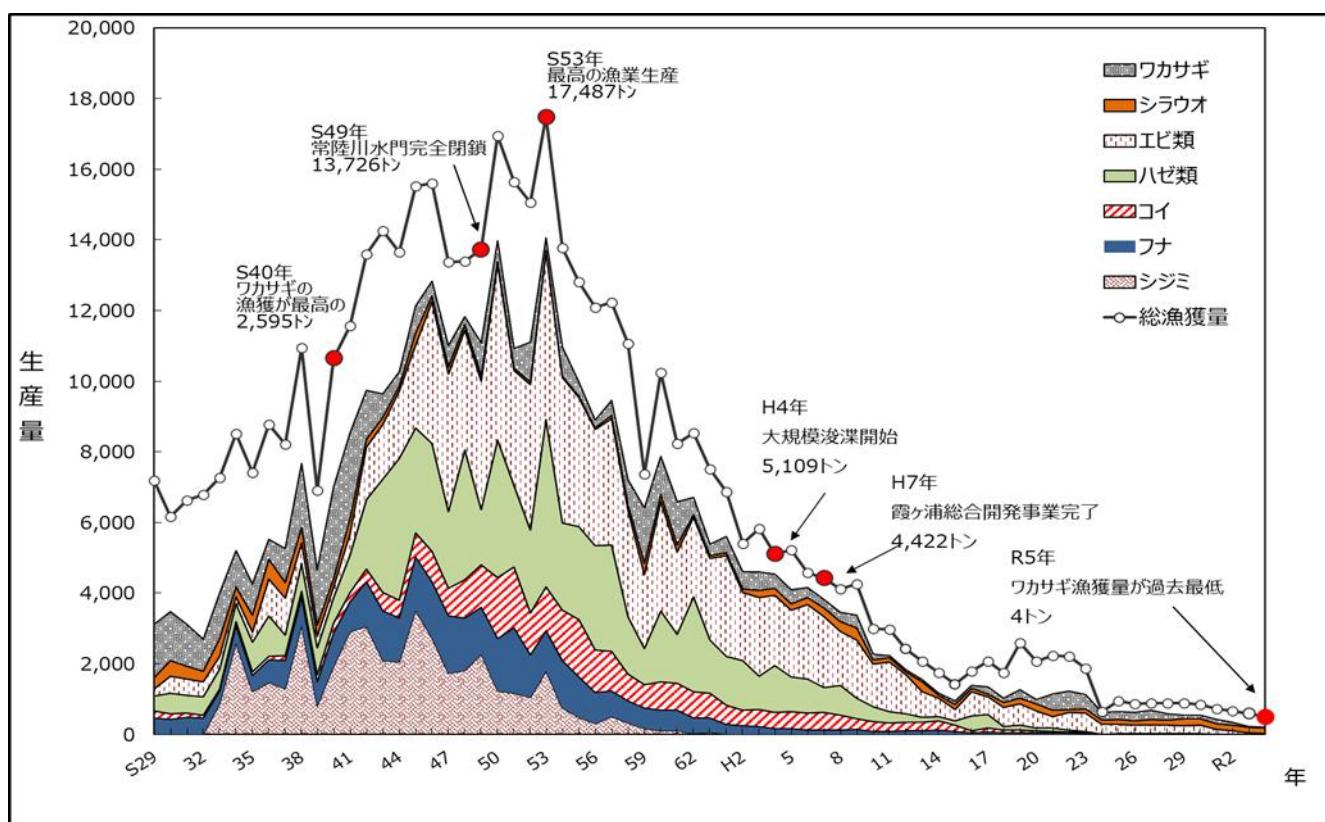
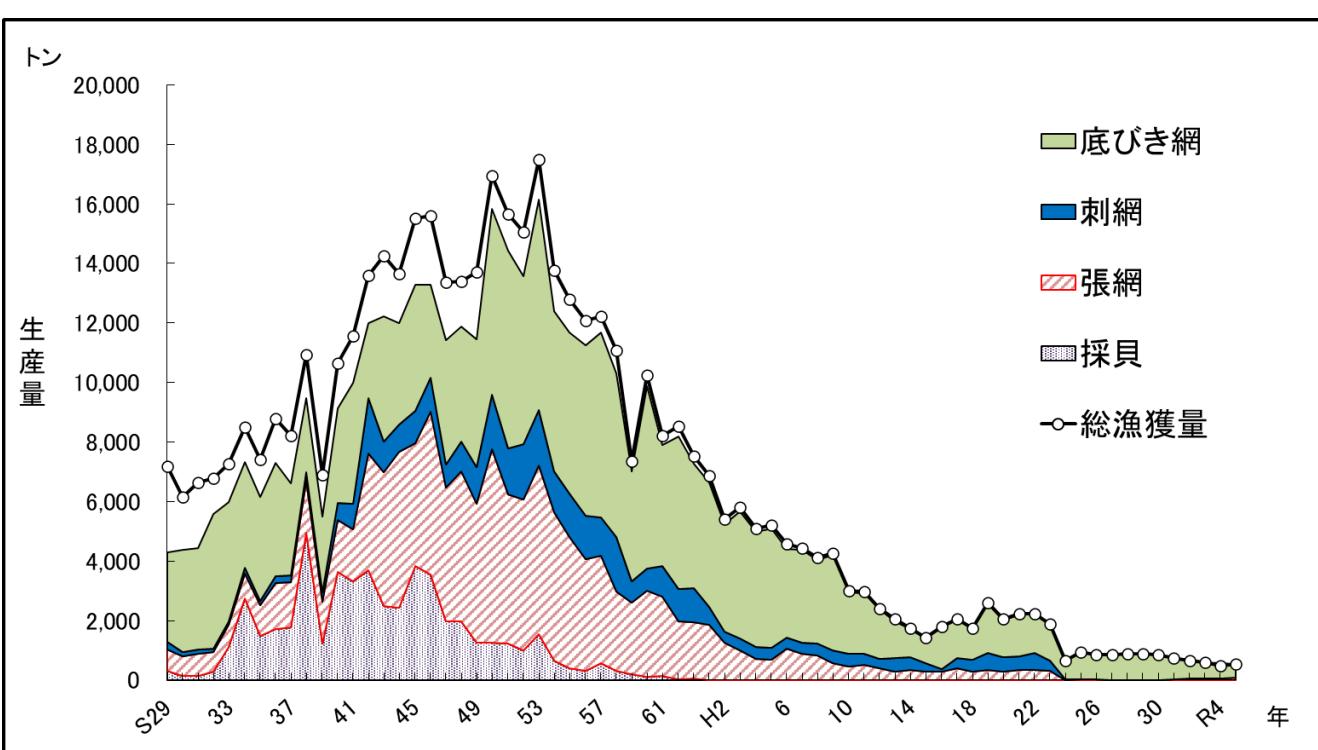
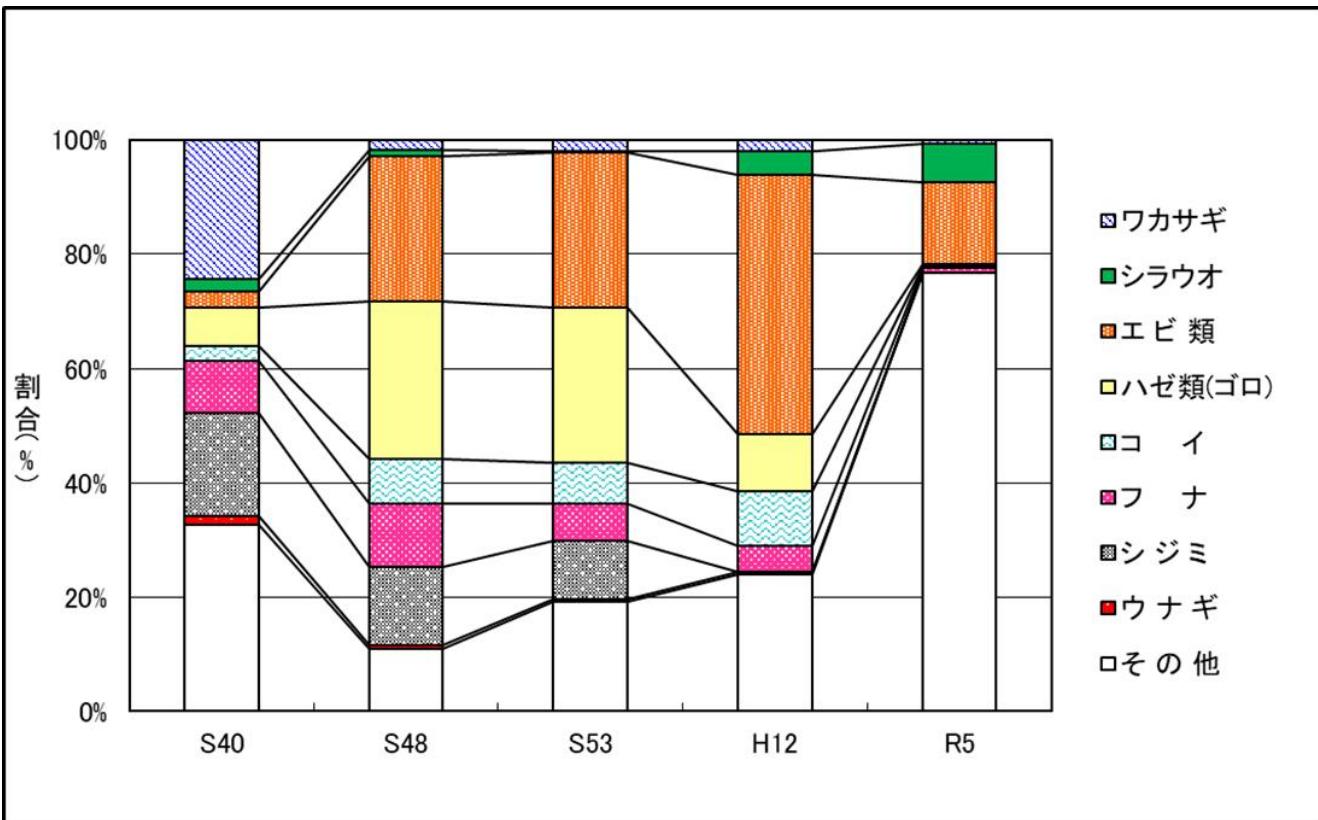


図 2 霞ヶ浦北浦における魚種別生産量



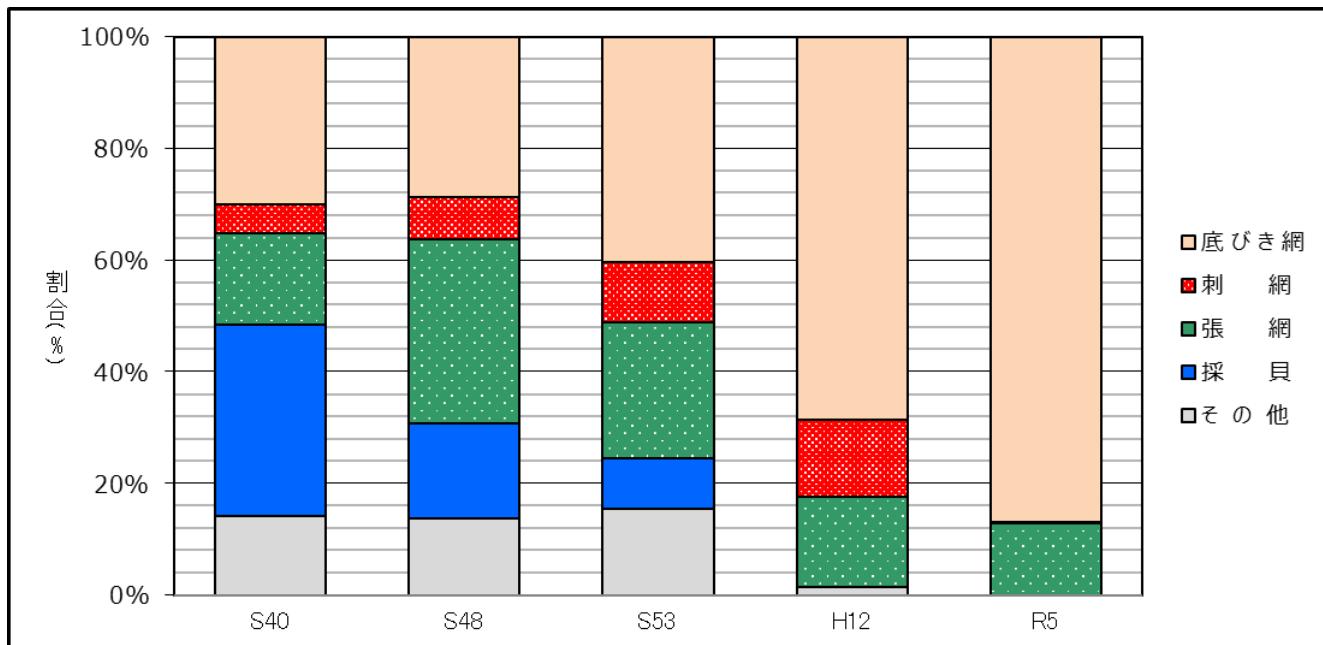


図5 各年代の漁業種類別生産量の割合

(2) 養殖業の概況

本地域では、小割式養殖業（網いけす養殖）、淡水真珠養殖業（イケチヨウガイ）及びコイ等の種苗生産を主目的とする池中養殖業が行われている。

【小割式養殖業】

第1種区画漁業権漁業である小割式養殖業は、地域漁業振興計画の一環として昭和39年に導入され、漁場の高い生産性と養殖技術の発展により急速に生産を伸ばした。

コイの収穫量は、昭和50年には全国一となり、昭和57年には8,641トンと生産のピークを迎えた。その後、需要の低迷により徐々に収穫量が減少したものの、平成14年までは収穫量全国一を維持し続けた（図6）。

しかし、平成15年10月のコイヘルペスウイルス（KHV）病の発生により、生産を休止した。

平成21年4月には、KHV病に強いコイの生産技術の開発やまん延させない安全な流通方法が確立されたことから、約5年ぶりにコイ養殖が再開された。

令和5年の茨城県の養殖コイ収穫量は667トンで全国1位の収穫量であり、その全てが霞ヶ浦北浦産である（表5）。

なお、コイだけでなく、一部の養殖業者はアメリカナマズやフナ等の生産も行っている。

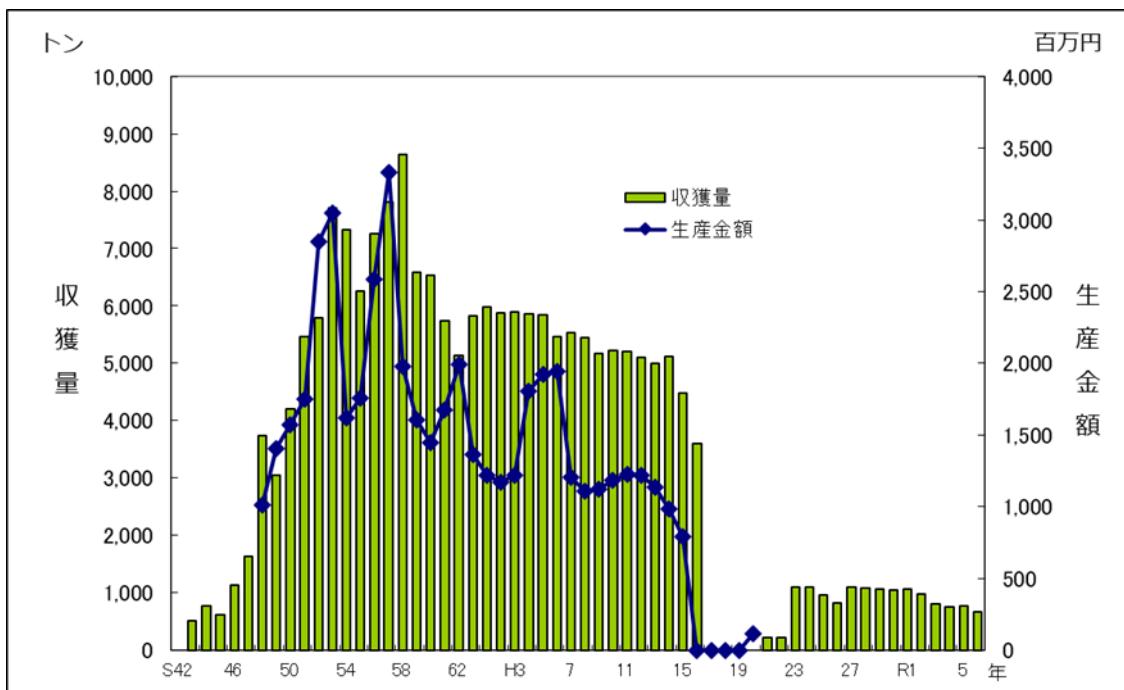


図6 霞ヶ浦北浦における養殖コイの収穫量と生産金額の推移

※生産金額：H21年度から調査対象としていない。

(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))

表5 近年の養殖コイ等の収穫量 (単位:トン)

項目			R1	R2	R3	R4	R5
収 穫 量	コ イ	茨城	970	812	749	763	667
			霞ヶ浦	×	×	×	×
		北 浦	×	×	×	×	×
	その 他		127	107	71	97	91

※×は非公表

(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))

3 水産資源の増殖及び環境保全対策

県では、漁業の持続的発展を図るため水産資源の増殖及び漁場環境保全対策を実施している。また、湖岸周辺の小学生等を対象に行われる「水産教室」の実施を支援している。

(1) 水産資源の増殖

霞ヶ浦北浦では、ワカサギの人工ふ化放流やウナギの種苗放流が行われている。県では、水産動植物の採捕を禁じる保護水面（4ヶ所）及び禁止区域（9ヶ所）を設定し、水産資源の増殖に努めている（漁場図（巻末）を参照）。

霞ヶ浦北浦の水産業のシンボルであり、資源の維持増大が強く求められているワカサギについては、ワカサギの人工ふ化放流が霞ヶ浦漁協、麻生漁協及びきたうら広域漁協によって行われている（表6）。

また、ウナギの種苗放流については平成26年度からは国等の交付金を活用し、きたうら広域漁業協同組合や2つの活動組織（かすみがうら市地区、大和地区）が実施している。

表6 霞ヶ浦北浦における放流実績

魚種\年度	R2	R3	R4	R5	R6
ワカサギ卵 (百万粒)	霞ヶ浦 北浦	117 66	119 73	100 36	2.6 0
	計	183	192	136	2.6
					0.07
ウナギ (kg)	霞ヶ浦 北浦	285 695.6	490 641.3	450 590	437 572
	計	980.6	1,131.3	1,040	1,009
					1,012

（霞ヶ浦北浦水産事務所資料）

(2) 漁場環境保全対策

水質汚濁やヨシなど水生植物の減少に対し、県では魚類やエビ類の繁殖育成の場となる水生植物帯の造成や保全などの事業を実施している（表7）。

表7 環境保全対策関連事業

事業名	事業主体	事業内容	実績等
漁場環境保全創造事業	茨城県	水産動植物の繁殖保護の場であり、水質浄化にも寄与する水生植物帯の造成	水生植物帯の造成地 H24：行方市八木蒔地先、 行方市天掛地先 H25：行方市三和地先 H26：行方市天掛地先 H27：鉾田市阿玉地先 R1：行方市山田地先
環境・生態系保全活動支援事業	地域協議会活動組織	水産資源の保護・培養に重要な役割を果たしているヨシ帯の保全活動の支援	保全活動実施実績 H26：霞ヶ浦 4.61ha、北浦 3.62ha H27：霞ヶ浦 4.61ha、北浦 3.89ha H28：霞ヶ浦 4.93ha、北浦 8.09ha H29：霞ヶ浦 3.95ha、北浦 8.19ha H30：霞ヶ浦 4.19ha、北浦 7.37ha R1：霞ヶ浦 3.95ha、北浦 9.57ha R2：霞ヶ浦 2.48ha、北浦 9.38ha R3：北浦 6.96ha R4：北浦 7.80ha R5：北浦 5.98ha R6：北浦 5.86ha

（霞ヶ浦北浦水産事務所資料）

(3) 水産教室

霞ヶ浦北浦周辺の地元の小学生等を対象に、地域産業である漁業や水産加工業と、漁場環境や水産資源の保護への理解促進を図る水産教室が実施されている。

近年では、自然環境と生態系の保全、漁業文化の伝承など水産業が持つ多面的機能に対する意識の高まりや、漁獲物の調理・食体験を通じた食育や地元産物の再発見などの要望の増加を背景に、地域交流や総合学習の一環として、漁協、市町村、大学などの主催で実施される機会が増加している。県はこれらの取組に対して、講師を派遣して支援している（表8）。

表8 令和6年度水産教室の実績

実施日	場所	主催	参加者	協力機関	生徒数	内 容
R6.09.25	行方市	行方市漁業振興協議会	行方市立北浦小学校	行方市農林水産課、独立行政法人水資源機構、霞ヶ浦北浦水産事務所	57	水産業に関する講義(霞ヶ浦北浦水産事務所対応)、環境・生態系保全に関する講義、漁業見学、湖上遊覧等
R6.10.16			行方市立麻生東小学校		28	
R6.10.30			行方市立玉造小学校		83	
R6.11.06			行方市立麻生小学校		60	
合計(延べ人数)					228	

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)



水産教室の様子

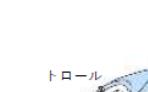
4 資源管理型漁業の推進

霞ヶ浦北浦では、ワカサギ資源の維持・回復のため平成18年度から平成22年度の5年間「霞ヶ浦北浦海区ワカサギ資源回復計画」に基づき、翌年の再生産に必要なワカサギ親魚を確保するため漁獲努力量をコントロールするなどの取組が行われ、現在の霞ヶ浦北浦における資源管理の基礎となつた。同計画は、平成23年3月策定の「茨城県資源管理指針」に引き継がれるとともに、平成22年には変動する資源の状況に合わせ柔軟な漁業管理を行う漁業者組織であるトロール部会が設立され、ワカサギ以外の魚種についても自主的な資源管理の取組が拡大された。

また、令和2年12月には漁業法が改正施行され、同法に基づき県の作成する「資源管理方針」と漁業者が策定、実施する「資源管理協定」による新たな資源管理の体制が示された。

このことから、県は令和2年12月に「茨城県資源管理方針」を策定し、令和5年8月には同方針へ「ワカサギ」、「シラウオ」、「テナガエビ」の主要3魚種を管理対象魚種として追加した。その後、令和6年の1~3月にかけて、霞ヶ浦北浦の4漁協が、同方針に基づいて漁業者間で決めたルールを盛り込んだ「資源管理協定」を策定した。今後、資源管理型漁業のより一層の推進が期待される。

表9 霞ヶ浦北浦における自主的な資源管理の経緯

年度	H9 H10	H18	H22 H23	H27 H28	R4	R5
茨城県	 <p>横ひき</p>	<p>ワカサギ資源回復計画</p>	<p>→</p> <p>県資源管理指針 (ワカサギ)</p>		<p>→</p>	<p>県資源管理方針 (ワカサギ・シラウ オ・テナガエビ)</p>
漁業者	<p>GW中の横ひき自主休漁</p> <p>横ひき操業時間の短縮 (7月) 【震】</p>	 <p>トロール</p>	<p>トロール部会の発足</p>	<p>横ひき操業時間の短縮 (3～7月) 【震】</p> <p>日設定 【震】</p> <p>エビトロールの自主解禁</p> <p>エビトロール終漁日、保 護区域設定 【震】</p>	<p>東 【震】</p> <p>年末ワカサギトロール自 由</p>	<p>資源管理協定 (トロール)</p>

〔資源管理の取組〕

(1) 漁業者による自主的な取組

いさぎ・ごろひき網漁業では、ワカサギやシラウオの稚魚混獲を防止するため、ゴールデンウィーク期間中の操業を自粛（自主休漁期間の設定）したほか、トロール漁の解禁前は操業を限定するといった取組が実施された。わかさぎ・しらうおひき網漁業においても、テナガエビ漁の終漁日を設定するなど、自主的な資源管理を実施した（表 10）。

(2) 漁業者部会の設立

平成 22 年 6 月に、関係漁協は漁業者間の合意形成による操業調整等を行う漁協内部組織として、わかさぎ・しらうおひき網漁業を対象とする「漁業者部会（トロール部会）」を設立した。同部会では、7 月から 12 月の漁期中に月 1 回程度会合が開かれ、操業時間等の自主管理措置について協議が行われている。また、平成 23 年 6 月には、霞ヶ浦地区において張網やさし網などの定置型漁業を対象とした定置部会も設立された（北浦地区では両部会を合同組織としている）（表 11）。

(3) 資源利用協議会の開催

資源利用協議会は、霞ヶ浦北浦地区の漁業・水産加工業関係の代表者が漁業の資源利用について協議する場として平成25年に設置され、その後計6回開催されたが平成28年を最後に休止されていた。しかしながら、北浦では令和元年以降ワカサギ等の記録的な不漁が続いていることや霞ヶ浦においても令和2年以降ワカサギ資源が減少傾向にあることから、令和4年から再開された。令和6年も11月に開催され、関係者が今後の対応等を協議した。

同協議会の開催を受けて、漁業者部会や各漁協において対応を協議した結果、霞ヶ浦地区では、トロール漁業において12/12～12/31（年末）の間、同時期のワカサギ遊泳層である底層の曳網（着底曳）を自粛することで、ワカサギ親魚を獲り控え、保護する取組等が決定、実施された。また、産卵期のシラウオ資源の保護のため、3月のいさぎ・ごろひき網漁業（横ひき）の操業が自粛された。

表 10 令和6年度の自主的な取組

事 項	地 区	目 的	内 容		開始年
いさぎ・ごろひき網漁業（横ひき）の自主規制	霞ヶ浦地区	ワカサギ・シラウオ稚魚の保護	GW中（4/29から5/6までの8日間）の自主休漁（稚魚の混獲防止） ※うなぎはえ縄漁の餌料確保のための操業は除く		H10年
			4/1から7/20までの間、操業時間を日の出から午前10時までに短縮		H28年
		産卵期のシラウオ保護	3月の操業を自粛		R6
わかさぎ・しらうおひき網漁業(トロール)の自主規制	霞ヶ浦地区	テナガエビ資源の保護	解禁日 の設定	試験操業結果をもとに、9/23よりトロールによるエビ漁を開始（テナガエビ漁解禁日の設定）	H22年
			操業自粛 区域 の設定	(R2～6年度未実施) H27～R1年度は11月上旬頃から終漁までの操業自粛区域設定	H27年
			終漁日 の設定	10/31をもってトロールによるエビ漁を終了（テナガエビ漁終漁日の設定）	
		ワカサギ 親魚の保護	底層曳 の自粛	12/12～12/31までワカサギ遊泳層となる底層曳（着底曳）を自粛	R4

表 11 漁業者部会の設立状況

	霞ヶ浦地区	北浦地区
構成漁協	霞ヶ浦漁協、麻生漁協	きたうら広域漁協、潮来漁協、常陸川漁協
部会名（対象漁業）	・霞ヶ浦地区トロール部会（トロール漁業）【平成 22 年 6 月設立】 ※横ひき漁業についても同部会で協議することを決定【平成 23 年 6 月】 ・定置部会（張網漁業、さし網漁業、つけ漁業、その他自由漁業）【平成 23 年 6 月設立】	・北浦地区トロール部会（トロール漁業）【平成 22 年 6 月設立】 ※横ひき漁業、定置型漁業については、必要に応じ合同で部会を開催することを決定【平成 23 年 7 月】

(4) 漁業者による自主的な漁業管理

【これまでに制定された自主規制等】 [] 内は制定日

- いさざ・ごろひき網漁業漁業管理協定【霞：H21.1.8、北：H21.1.22】
- わかさぎ・しらうおひき網漁業自主管理協定【霞：H22.6.18、北：H22.6.18】
- しらうおさし網漁業漁業管理規約【霞：H21.7.24 他、北：H21.7.27 他】
- 雑魚さし網漁業漁業管理協定【霞：H21.12.8、北：H21.12.8】
- つけ漁業漁業管理協定【霞：H22.3.1、北：H22.3.1】
- 張網漁業漁業管理規約【霞：H22.7.13、北：H22.7.12】※許可漁業
- ワカサギ等資源活用事業のための年末トロール試験操業実施計画書【霞北：H23.11、H24.11】
- 茨城県霞ヶ浦北浦海区における各漁業協同組合の資源管理協定【霞北：R6.1～3】

(5) その他の取組

① 資源の積極的増殖措置

ワカサギ資源の維持・増大を図るため、漁業者がワカサギ産卵親魚を採捕し、採卵から、受精・放流までを行っている。なお、平成 30 年度から手搾り(搾出法)に加え、水槽内自然産卵法による採卵を実施している。

② 調査研究

県水産試験場内水面支場を中心に、ワカサギ・シラウオの資源動向調査や漁場環境調査を実施するとともに、効果的な資源管理方策の研究が行われている。



ワカサギ人工ふ化放流事業（採卵作業（左図）とシュロ枠に付着させた受精卵（右図））

5 漁業制度

霞ヶ浦北浦は、漁業法に基づく海区指定を受け、海面と同じ漁業制度がとられている。なお、主要漁業の年間操業期間及び漁獲対象種の時期は、表 12 のとおり。

(1) 漁業権漁業（表 13）

漁業権とは、都道府県知事の免許を受け、一定の水面において排他的に一定の漁業を営む権利であり、「共同漁業権」、「区画漁業権」及び「定置漁業権」の3種類があるが、霞ヶ浦北浦では「共同漁業権」及び「区画漁業権」が免許されている。

霞ヶ浦北浦における漁業権は、湖岸帯沿いの雑魚張網漁業を内容とする第2種共同漁業権が18件（免許期間10年）、コイ等の網いけす養殖業を内容とする第1種区画漁業権が11件（免許期間5年）、真珠養殖業を内容とする第1種区画漁業権が3件（免許期間10年）となっている（令和7年8月1日現在）。

(2) 知事許可漁業（表 14）

霞ヶ浦北浦では、茨城県霞ヶ浦北浦海区漁業調整規則により許可される知事許可漁業が小型機船底びき網漁業263件、さし網漁業253件、つけ漁業61件、建網漁業16件、計593件が許可されている（令和7年8月1日現在）。許可の有効期間は、いずれも令和2年12月の漁業調整規則改正により、5年間となっている。

(3) 自由漁業（表 15）

自由漁業とは、漁業者が営むことのできる漁業権漁業及び許可漁業以外の漁業のことである。霞ヶ浦北浦では漁業協同組合の承認制がとられており、うなぎ漁（はえ縄、筒、せん等）や船舶からの投網漁など376件が操業されている。

(4) 保護水面、禁止区域

水産資源の保護培養を目的として、一切の水産動植物の採捕を禁止している「保護水面」（霞ヶ浦2ヶ所、北浦2ヶ所）及び「禁止区域」（霞ヶ浦7ヶ所、北浦2ヶ所）が設定されている（「11.資料(霞ヶ浦北浦海区の漁場図)」参照）。



霞ヶ浦・北浦での操業風景
(左：わかさぎ・しらうおひき網漁業、右：いさざ・ごろひき網漁業)

表 12 霞ヶ浦北浦における主要漁業の操業期間及び魚種別漁獲時期

漁業別操業期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
いさざ・ごろひき網漁業 (横ひき網)	1/20 →		3/1 ←									
わかさぎ・しらうおひき網漁業 (トロール網)							7/21 ←					12/31 →
雑魚さし網 (掛網)	1/1 ←											12/31 →
しらうおさし網 (しらうお建網)		2月末日 →		4/1 ←	5/15 →						11/1 ←	
ます網 (張網漁業)	1/20 →		3/1 ←									
つけ漁業	1/1 ←											12/31 →
魚種別漁獲時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ワカサギ							←					→
シラウオ		→		←	→		←					
エビ類							←					
小・中エビ							←					
大エビ							←	→				
ザザエビ							←	→				
ハゼ類(ゴロ)				←	→		←					→
イサザアミ				←	→		←					
フナ・コイ	→						←					

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 13 霞ヶ浦北浦における漁業権の現況（令和7年8月1日現在）

種 別	免許 件数	漁業の種類	免許満了年月 日 (免許期間)	主な漁獲種 (養殖種)
第2種共同漁業権	18 件	大型雑魚張網漁業 小型雑魚張網漁業	R15.8.31 (10年)	エビ類、ハゼ類(ゴロ)、 ウナギ、フナ、コイ
第1種区画漁業権	11 件	小割式養殖業 (行使面数：1,765面以内)	R11.8.31 (5年)	(コイ、フナ等)
	3 件	真珠養殖業	R15.8.31 (10年)	(淡水真珠)

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 14 霞ヶ浦北浦における知事許可漁業の現況（令和7年8月1日現在）

漁業の名称	漁業種類	許可件数	許可満了年月日
小型機船底びき網漁業	手操第1種漁業（いさざ・ごろひき網漁業）	63件	R8.2.28
	手操第3種漁業（しじみかき漁業、まんぐわ漁業）	※1	
	打瀬漁業（帆びき網漁業）	※2	
機船船びき網漁業	その他の小型機船底びき網漁業（わかさぎ・しらうおひき網漁業）	200件	R9.7.20
	こい・ふな機船船びき網漁業（小大徳網漁業）	－	
さし網漁業	その他の機船船びき網漁業（小大徳網漁業）	－	
	雑魚さし網漁業（掛網漁業）	173件	R8.12.31
つけ漁業	しらうおさし網漁業（しらうお建網漁業）	80件	R8.8.31
	ます網漁業（張網漁業）	16件	R9.7.27
	おだ漁業	13件	
竹浸漁業	37件	R9.3.24	
	その他つけ漁業	11件	
合計		593件	

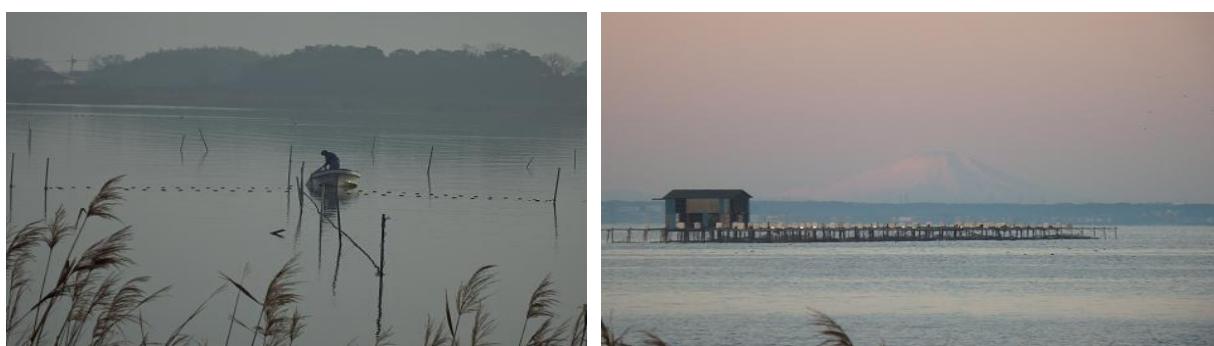
※1：しじみかき漁業及びまんぐわ漁業については資源状況の悪化により休止

※2：帆びき網漁業については、特別採捕許可（伝統漁法の継承及び観光）により6隻が操業
(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 15 霞ヶ浦北浦における自由漁業の現況（令和7年8月1日現在）

漁業の名称	霞ヶ浦地区計	北浦地区計	霞ヶ浦北浦合計
ふなせん	1件	7件	8件
こいせん	7件	－	7件
えびせん	1件	5件	6件
うなぎ（せん、筒、竹、竹筒）	153件	70件	223件
はえなわ	62件	28件	90件
投網	17件	21件	38件
どじょう網	4件	－	4件
つくし	－	－	－
こずまき	－	－	－
合計	245件	131件	376件

※各地区における承認数（漁協聞き取り） (霞ヶ浦北浦水産事務所資料)



霞ヶ浦・北浦での操業風景（左：張網漁業、右：小割式養殖業<網いけす養殖業>）

6 水産物流通加工

(1) 水産物の流通

霞ヶ浦北浦では、古くから小型の魚介類を対象とした漁業が行われ、漁獲物の大部分が加工原料として利用されてきた。加えて、霞ヶ浦北浦地域には産地市場が存在しないことから、多くの漁業者は地元の水産加工業者に直接水揚げを行っているが、近年は、漁業者自らによる自家加工販売や、消費地市場への出荷なども行われるようになり、流通形態の多様化が進んでいく。

一方、水産加工業者においては、近年の漁獲量減少による地元産加工原料の不足分を他県や国外から調達することで、加工製品の安定供給、経営の安定化を図っているが、他地域との競合等により、原料調達は年々厳しい状況となっている。

令和6年の加工原料調達量は全体で938.2トンで、調達先別にみると、県内産は96.4トン、県外産は246.5トン、国外産は595.3トンとなっていた。

他県産と外国産をあわせた加工原料調達量は、平成20年までは3,000トン台で、平成21年から平成30年までは2,000トン前後で推移してきたが、平成30年以降は減少傾向が続き、令和4年以降は100トン台で推移している（表16-1、表16-2、表16-3）。

(2) 水産加工業者並びに加工製品の流通

霞ヶ浦北浦で水産加工が始められたのは江戸時代末期であるとされ、当時は煮干の製造が主流であったといわれている。また、現在の代表的な水産加工品である佃煮については、明治の初めに東京から製法が導入され、霞ヶ浦北浦地域で盛んに製造されるようになったと伝えられている。

その後も霞ヶ浦北浦地域の加工業者の手によって使用原料の選定や加工方法の開発、改良が進められ、水産加工品は特産物としての地位を確立し、現在に至っている。

霞ヶ浦北浦地域には、かつて、水産加工業協同組合5団体と同連合会1団体が存在していたが、平成17年8月1日に合併して霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合が設立された。

令和7年3月時点の組合員数は35経営体となっており、近年、経営体数は転業や廃業により漸減傾向にある。

また、従事者数別の事業所数をみると、5人以下の経営体が18経営体で組合員の過半数を占める状態となっている（図7）。

なお、総従事者数は170人で、このうち常時雇用者数は155人、臨時雇用者数は15人であった（表17-1、表17-2）。

水産加工業の経営形態の動向としては、自ら加工した製品を自己店舗により販売する業者のほか、加工よりも販売を重点的に行っている業者、大量に確保した原料を加工して各地に向けて出荷している業者など、形態が多様化、分業化している。

また、加工生産量は、平成5年をピークに数量及び金額とも減少し、平成13年以降は数量で約4,000トン、金額は35億円程度で推移していた。しかし、平成23年には、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の影響を受け、加工販売量・額が大幅に減少し、その後も減少傾向となっている。

◆加工販売量

令和6年の水産加工品総販売量は568.9トンとなっており、種類別の販売量では佃煮類が最も多く476.5トン、次いで焼き物が31.3トン、以下、煮干し類30.7トン、その他30.4トンであった(図8、表18-1、表18-2)。

◆加工販売額

令和6年の水産加工品総販売額は804.6百万円となっており、種類別の販売額では佃煮類が最も多く520.6百万円、次いで焼き物が105.9百万円、以下、煮干し類103.9百万円、その他74.1百万円であった(表18-1、表18-2)。

◆買取販売

買取販売とは、他の水産加工業者が製造した製品を仕入れて販売する行為であることから、加工販売の集計においては販売実績の重複を防ぐ必要があるため、加工販売とは別に集計している。

令和6年の買取販売量と販売金額は、それぞれ291.9トン・42.1百万円となっており、種類別では、煮干し類14.4トン・13.1百万円、佃煮類が6.2トン・13.5百万円、焼き物が120.7トン・14.5百万円、その他150.6トン・1.0百万円であった(表19)。

水産加工業者及び加工組合は、水揚げされる魚種の変化や多様化する消費者ニーズに対応した様々な新製品の開発を行うとともに、各地で行われている催事への出品や県内外の量販店等におけるPR活動などを行い、消費の拡大に努めている。また、水産加工品の特産品としての銘柄化を図るため、当地域の多くの水産加工品が茨城県水産物開発普及協会が主催している水産加工優良推奨品の認定を受けており(令和6年12月現在28件、認定から5年間有効)、「茨城をたべよう」を合言葉に銘柄化を推進している。

(3) 生鮮魚、養殖魚の流通

霞ヶ浦北浦の漁獲物は加工原料以外に鮮魚としても出荷されている。このうち、シラウオについては、一時、生鮮出荷する際に加熱表示(生食不可)を行っていたが、平成26年よりこの表示をせずに出荷が可能となり、現在では、高鮮度に保たれたシラウオがブランド化され、販売されている。

令和6年の活魚及び鮮魚の総販売量は81.4トンで、総販売額は87.6百万円となっていた(表20-1、表20-2)。

霞ヶ浦北浦における養殖魚類はコイやフナが主体で、生産量の大部分が県内外に活魚で出荷されている。これら活魚の用途は、養殖コイは食用として、養殖フナは放流用や食用となっている。

なお、養殖コイについては、川魚問屋の廃業や活魚を扱える料理人が減少していることなどから、活魚出荷ではなく一次加工したうえで出荷しようとする取組が一部の養殖業者の間で行われている。

◆水産物流通加工に関するデータについての留意事項

- ・調査対象：霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合の令和6年3月時点の組合員39経営体
- ・集計経営体数：26経営体
- ・調査対象期間：令和6年1月1日から令和6年12月31日まで
- ・焼き物類は取引の慣習に合わせ「串」単位で調査し、下記の基準により重量換算した。
(基準) すずめ焼 50串=1kg 焼わかさぎ 30串=1kg
鬼がら焼 90串=1kg その他の串焼 50串=1kg
※ 平成14年まではすべて100串=1kgで換算

表 16-1 令和6年魚種別加工原料調達状況

(単位:トン)

区分 魚種	県内産	移入原料			合計	移入比率
		県外産	外国産	小計		
わかさぎ	4.6	9.1	462.3	471.4	476.0	99.0%
しらうお	49.2	0.0	10.0	10.0	59.2	16.9%
ごろ(はぜ類)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0%
あみ	4.8	92.0	0.0	92.0	96.8	95.0%
えび	1.8	0.0	107.8	107.8	109.6	98.4%
ふな	0.5	0.0	5.0	5.0	5.5	90.9%
うなぎ	3.0	13.4	0.0	13.4	16.4	81.7%
その他	32.3	132.0	10.2	142.2	174.5	81.5%
合計	96.4	246.5	595.3	841.8	938.2	89.7%
令和5年実績	219.7	212.5	442.8	655.3	875.0	74.9%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 16-2 令和5年魚種別加工原料調達状況

(単位:トン)

区分 魚種	県内産	移入原料			合計	移入比率
		県外産	外国産	小計		
わかさぎ	41.7	5.0	347.8	352.8	394.5	89.4%
しらうお	55.1	1.0	10.0	11.0	66.1	16.6%
ごろ(はぜ類)	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0%
あみ	20.7	132.0	0.0	132.0	152.7	86.4%
えび	68.3	0.0	70.0	70.0	138.3	50.6%
ふな	0.8	0.0	5.0	5.0	5.8	86.2%
うなぎ	7.1	11.5	0.0	11.5	18.6	61.8%
その他	24.5	63.0	10.0	73.0	97.5	74.9%
合計	219.7	212.5	442.8	655.3	875.0	74.9%
令和4年実績	301.2	301.2	528.1	829.3	1,130.5	73.4%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 16-3 移入原料の推移

(単位:トン)

魚種	年	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		1,116	1,170	1,216	1,195	915	762	494	495	418	353	471
わかさぎ	30	37	37	30	30	30	20	20	10	11	10	
ごろ(はぜ類)	38	33	11	10	6	7	5	6	3	0	0	
あみ	349	245	192	177	183	193	137	131	146	132	92	
えび	270	249	241	253	258	166	101	261	98	70	108	
ふな	26	12	14	15	14	15	12	5	4	5	5	
うなぎ	25	30	28	29	29	31	8	9	11	12	13	
その他	245	235	806	174	169	130	124	152	141	73	142	
合計	1,560	2,098	2,011	2,545	1,884	1,604	1,334	1,078	829	655	842	
* 全体比	75.2 %	0.8 %	0.7 %	78.6%	74.6%	68.8%	63.4%	70.3%	73.4%	74.9%	89.7%	

* 全体比は当該年における加工原料全体のうち、移入原料の占める割合を示している。

注) 小数点第一位で四捨五入しているため、合計値と積上げ値が異なる場合がある。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

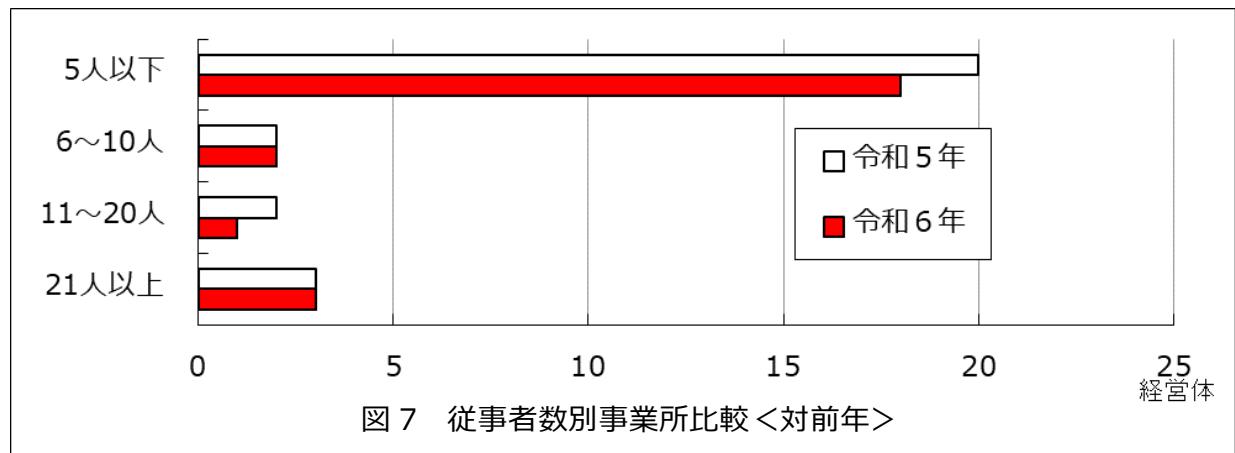


図7 従事者数別事業所比較<対前年>

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表17-1 令和6年加工業従事者の構成

(単位：人)

区分 支部名	常時雇用								臨時雇用		合計 (a+b+c+d)	
	男子子				女子子				男子	女子		
	~39歳	40~59歳	60~歳	小計(a)	~39歳	40~59歳	60~歳	小計(b)				
土浦	0	5	5	10	0	1	1	2	0	0	12	
かすみがうら	3	20	20	43	10	17	19	46	4	1	94	
霞ヶ浦	0	2	7	9	2	5	9	16	2	4	31	
湖南	0	1	1	2	0	0	3	3	0	2	7	
北浦	3	1	4	8	1	2	13	16	1	1	26	
合計	6	29	37	72	13	25	45	83	7	8	170	

(注) ・常時雇用：1年以上の期間にわたり継続して雇用される者。家族を含み経営者を除く。

・臨時雇用：継続して雇用される期間が1年未満の者、又は日々雇用される者。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表17-2 加工業従事者数の推移

(単位：人)

年		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
常時	男子	85	80	89	94	86	96	74	78	79	64	72
	女子	219	195	181	171	169	146	138	135	130	102	83
	小計	304	275	270	265	255	242	212	213	209	166	155
臨時	男子	21	16	14	11	14	16	12	16	6	4	7
	女子	32	35	25	32	44	32	37	35	18	14	8
	小計	53	51	39	43	58	48	49	51	24	18	15
合計	男子計	111	106	96	103	105	100	112	94	85	68	79
	女子計	212	251	230	206	203	213	178	170	148	116	91
	合計	323	357	326	309	308	313	290	264	233	184	170

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

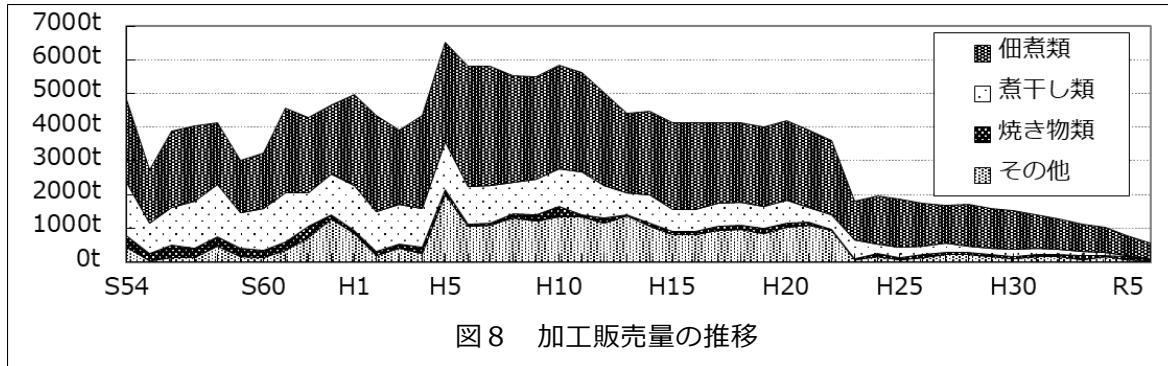


図8 加工販売量の推移

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表18-1 加工販売量・販売額の推移

(単位:上段トン, 下段千円)

種類 \ 年	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
わかさぎ煮干	数量 金額	54.5 107,187	42.8 106,353	26.1 82,792	42.1 112,057	38.5 107,635	35.6 112,972	23.9 67,263	15.8 49,135	7.5 28,623	6.5 25,000
しらうお煮干	数量 金額	54.3 128,782	32.3 95,004	76.1 301,055	75.6 300,701	65.6 237,521	56.5 196,563	46.9 137,073	36.8 113,296	17.2 59,590	19.5 73,390
あみ煮干	数量 金額	22.0 5,900	25.5 15,550	6.0 1,440	7.1 2,633	28.0 9,113	19.5 3,850	21.5 4,250	7.0 1,270	5.8 1,326	2.2 2,450
えび煮干	数量 金額	145.0 98,338	84.7 51,416	77.0 43,992	75.0 37,040	47.7 27,585	46.9 27,149	21.4 11,610	7.8 5,780	16.0 16,640	0.5 550
その他の煮干	数量 金額	5.1 5,100	5.3 5,100	4.3 4,100	4.3 4,198	4.0 4,100	3.2 3,100	3.2 4,000	4.2 5,500	3.0 3,900	2.0 2,600
煮干計	数量 金額	280.9 345,307	190.6 273,423	189.5 433,379	204.1 456,629	183.8 385,954	161.7 343,634	116.9 224,196	71.5 174,981	49.5 110,079	30.7 103,990
わかさぎ佃煮	数量 金額	262.9 376,281	294.6 397,932	282.9 389,079	345.2 486,157	302.2 486,157	310.6 430,479	280.1 424,609	290.5 402,390	168.2 238,885	204.0 314,168
しらうお佃煮	数量 金額	25.0 56,658	56.8 94,668	62.6 131,908	59.1 126,084	59.0 108,711	82.3 113,545	92.2 144,770	79.9 109,504	7.1 17,784	8.2 22,320
はぜ佃煮	数量 金額	24.1 31,308	26.4 39,281	21.5 31,770	15.9 25,230	10.8 10,800	6.4 7,490	4.5 5,990	3.4 5,693	1.8 3,161	2.0 3,500
あみ佃煮	数量 金額	186.3 124,270	141.8 100,906	144.3 103,125	150.4 109,276	155.5 114,188	124.6 95,682	141.6 120,057	132.5 113,055	135.4 114,777	129.7 126,570
えび佃煮	数量 金額	120.4 123,538	178.7 173,335	182.3 175,256	182.3 169,676	173.5 162,828	134.3 127,795	74.4 86,520	42.4 51,690	52.8 71,710	29.1 46,895
ふな佃煮	数量 金額	15.3 22,090	8.6 13,730	9.6 12,201	10.0 17,754	9.8 17,175	9.3 11,891	6.8 9,500	1.2 1,800	3.0 3,623	2.8 4,225
その他の佃煮	数量 金額	497.3 482,734	518.5 609,949	469.5 507,330	388.5 455,225	292.0 401,800	219.5 309,973	205.5 290,300	202.2 203,336	225.0 221,000	100.7 2,950
佃煮計	数量 金額	1,131.3 1,216,879	1,225.4 1,429,801	1,172.7 1,350,669	1,151.4 1,389,402	1,002.7 1,301,659	887.0 1,096,855	805.1 1,081,746	752.0 887,468	593.3 670,940	476.5 520,628
すずめ焼き	数量 金額	0.7 1,350	0.7 750	1.2 2,850	0.5 1,100	0.5 1,100	0.4 950	0.4 950	0.4 950	0.0 0	0.0 0
焼わかさぎ	数量 金額	35.4 48,550	43.5 54,330	43.0 54,350	32.6 44,222	30.7 41,350	37.9 40,646	34.2 38,374	37.3 39,870	21.0 31,218	21.8 28,290
鬼がら焼	数量 金額	21.4 72,485	22.3 76,650	18.4 74,050	13.8 62,288	15.5 60,308	14.1 58,115	15.6 57,750	14.6 79,980	7.0 48,000	7.9 49,980
その他焼物	数量 金額	2.4 12,000	0.0 0	0.2 800	12.0 5,100	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.1 27,960	48.0 24,480	1.6 27,630
焼物計	数量 金額	59.9 134,385	66.5 131,730	62.8 132,050	58.9 112,710	46.7 102,758	52.4 99,711	50.2 97,074	52.4 148,760	76.0 103,698	31.3 105,900
うなぎ加工品	数量 金額	26.2 185,035	18.0 112,781	28.8 186,087	28.2 202,011	27.5 139,950	16.7 52,700	22.5 86,075	16.8 54,200	9.7 24,305	13.6 51,986
冷凍品	数量 金額	170.6 78,363	119.3 133,826	59.0 29,500	60.5 32,843	79.0 74,500	107.0 75,100	53.2 9,000	77.2 39,240	19.0 6,000	10.0 16,000
その他	数量 金額	21.0 18,765	80.3 52,569	73.1 37,956	13.1 9,156	68.1 40,156	47.2 29,040	5.9 4,720	53.9 28,720	48.0 24,480	6.8 6,120
その他計	数量 金額	217.8 282,163	217.6 299,176	160.9 253,543	101.8 244,010	174.6 254,606	170.9 156,840	81.6 99,795	147.9 122,160	76.7 54,785	30.4 74,106
合計	数量 金額	1,689.9 1,978,734	1,700.0 2,134,130	1,585.9 2,169,641	1,516.2 2,202,751	1,407.7 2,044,977	1,272.0 1,697,040	1,053.8 1,502,811	1,023.9 1,333,369	795.5 939,502	568.9 804,624

(注) 1 釜揚げは煮干しの中に、甘露煮は佃煮の中に含む。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

2 わかさぎ筏焼は焼きわかさぎの中に含む。

3 冷凍品は平成24年以前はその他に含む。

表 18-2 令和6年加工販売量・販売額

(単位：上段トン、下段千円)

支部名 種類	土浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖南	北浦	合計	比率	
わかさぎ煮干	数量 金額	0.0 0	6.5 25,000	0.0 0	0.0 0	6.5 25,000	1.1% 3.1%	
	数量 金額	0.0 0	9.4 43,940	2.4 5,980	2.1 9,020	5.6 14,450	19.5 73,390	
しらうお煮干	数量 金額	0.0 0	2.0 2,400	0.2 50	0.0 0	2.2 0	0.4% 0.3%	
	数量 金額	0.0 0	0.4 400	0.1 0	0.0 150	0.5 0	0.1% 0.1%	
あみ煮干	数量 金額	0.0 0	2.0 2,600	0.0 0	0.0 0	2.0 0	0.4% 0.3%	
	数量 金額	0.0 0	0.4 400	0.1 0	0.0 150	0.5 0	0.1% 0.1%	
えび煮干	数量 金額	0.0 0	2.0 2,600	0.0 0	0.0 0	2.0 0	0.4% 0.3%	
	数量 金額	0.0 0	0.4 400	0.1 0	0.0 150	0.5 0	0.1% 0.1%	
その他の煮干	数量 金額	0.0 0	2.0 2,600	0.0 0	0.0 0	2.0 0	0.4% 0.3%	
	数量 金額	0.0 0	20.3 74,340	2.6 6,030	2.2 9,170	5.6 14,450	30.7 103,990	5.4% 12.9%
煮干計	数量 金額	0.0 0	20.3 74,340	2.6 6,030	2.2 9,170	5.6 14,450	30.7 103,990	5.4% 12.9%
	数量 金額	1.0 7,200	192.5 276,750	3.2 8,550	2.7 7,563	4.6 14,105	204.0 314,168	35.9% 39.0%
わかさぎ佃煮	数量 金額	0.0 0	5.2 13,400	0.3 940	0.5 1,420	2.2 6,560	8.2 22,320	1.4% 2.8%
	数量 金額	0.0 0	1.0 1,500	0.0 0	1.0 2,000	0.0 0	2.0 3,500	0.4% 0.4%
あみ佃煮	数量 金額	0.5 2,000	124.6 115,320	3.1 5,690	0.2 300	1.3 3,260	129.7 126,570	22.8% 15.7%
	数量 金額	1.2 6,000	25.6 37,720	2.3 3,175	0.0 0	0.0 0	29.1 46,895	5.1% 5.8%
えび佃煮	数量 金額	0.0 0	2.4 3,000	0.2 0	0.1 455	0.1 770	2.8 4,225	0.5% 0.5%
	数量 金額	0.2 1,200	100.0 0	0.0 0	0.0 0	0.5 1,750	100.7 2,950	17.7% 0.4%
佃煮計	数量 金額	2.9 16,400	451.3 447,690	9.1 18,355	4.5 11,738	8.7 26,445	476.5 520,628	83.8% 64.7%
	数量 金額	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0% 0.0%
すずめ焼き	数量 金額	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0% 0.0%
	数量 金額	0.1 180	13.7 24,750	0.0 0	0.0 0	8.0 3,360	21.8 28,290	3.8% 3.5%
焼わかさぎ	数量 金額	0.0 0	7.9 49,980	0.0 0	0.0 0	0.0 0	7.9 49,980	1.4% 6.2%
	数量 金額	0.0 0	0.6 3,150	0.0 0	0.0 0	1.0 24,480	1.6 27,630	0.3% 3.4%
鬼がら焼	数量 金額	0.0 0	10.0 49,980	0.0 0	0.0 0	0.0 0	10.0 49,980	1.8% 6.2%
	数量 金額	0.0 0	0.6 3,150	0.0 0	0.0 0	1.0 24,480	1.6 27,630	0.3% 3.4%
その他焼物	数量 金額	0.0 0	22.2 77,880	0.0 0	0.0 0	9.0 27,840	31.3 105,900	5.5% 13.2%
	数量 金額	0.1 180	0.0 0	0.0 0	0.0 0	9.0 27,840	31.3 105,900	5.5% 13.2%
うなぎ加工品	数量 金額	5.2 10,400	3.0 0	4.4 36,250	1.0 5,336	0.0 0	13.6 51,986	2.4% 6.5%
	数量 金額	0.0 0	10.0 16,000	0.0 0	0.0 0	0.0 0	10.0 16,000	1.8% 2.0%
冷凍品	数量 金額	0.0 0	0.0 16,000	0.0 0	0.0 0	0.0 0	10.0 16,000	1.8% 2.0%
	数量 金額	0.0 0	0.0 0	6.8 42,370	0.0 5,336	0.0 0	6.8 74,106	1.2% 9.2%
その他計	数量 金額	5.2 10,400	13.0 16,000	11.2 42,370	1.0 5,336	0.0 0	30.4 74,106	5.3% 9.2%
	数量 金額	8.2 26,980	506.8 615,910	22.9 66,755	7.7 26,244	23.3 68,735	568.9 804,624	100.0% 100.0%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 19 令和6年買取販売量・販売額

(単位：上段 トン，下段 千円)

種類	支部名	土浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖南	北浦	合計	比率
わかさぎ煮干	数量	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3%
	金額	0	3,500	0	0	0	3,500	8.3%
しらうお煮干	数量	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2%
	金額	884	0	0	82	0	966	2.3%
あみ煮干	数量	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	3.4%
	金額	0	5,000	0	0	0	5,000	11.9%
えび煮干	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	1.0%
	金額	0	0	0	0	3,590	3,590	8.5%
その他の煮干	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
煮干計	数量	0.5	11.0	0.0	0.0	2.9	14.4	4.9%
	金額	884	8,500	0	82	3,590	13,056	31.0%
わかさぎ佃煮	数量	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.2%
	金額	0	0	0	0	1,600	1,600	3.8%
しらうお佃煮	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
はぜ佃煮	数量	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.1%
	金額	0	0	0	750	0	750	1.8%
あみ佃煮	数量	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.5	0.2%
	金額	75	0	0	150	0	225	0.5%
えび佃煮	数量	0.1	0.0	0.0	0.4	1.3	1.8	0.6%
	金額	80	0	0	800	3,000	3,880	9.2%
ふな佃煮	数量	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.5%
	金額	0	2,550	0	0	0	2,550	6.1%
その他の佃煮	数量	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	0.5%
	金額	0	0	0	4,500	0	4,500	10.7%
佃煮計	数量	0.7	1.5	0.0	2.3	1.7	6.2	2.1%
	金額	155	2,550	0	6,200	4,600	13,505	32.1%
すずめ焼き	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
焼わかさぎ	数量	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1%
	金額	0	610	0	0	0	610	1.5%
鬼がら焼	数量	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1%
	金額	0	1,920	0	0	0	1,920	4.6%
その他焼物	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	120.0	120.0	41.1%
	金額	0	0	0	0	12,000	12,000	28.5%
焼物計	数量	0.1	0.6	0.0	0.0	120.0	120.7	41.3%
	金額	0	2,530	0	0	12,000	14,530	34.6%
うなぎ加工品	数量	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2%
	金額	0	960	0	0	0	960	2.3%
冷凍品	数量	0.0	150.0	0.0	0.0	0.0	150.0	51.4%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他計	数量	0.2	150.4	0.0	0.0	0.0	150.6	51.6%
	金額	0	960	0	0	0	960	2.3%
合計	数量	1.5	163.5	0.0	2.3	124.6	291.9	100.0%
	金額	1,039	14,540	0	6,282	20,190	42,051	100.0%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 20-1 魚種別活魚・鮮魚販売実績の推移 (単位: 上段 トン, 下段 千円)

年 魚種 \ 年		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
わかさぎ	数量	63.5	104.3	101.1	91.9	36.4	2.6	2.1
	金額	55,963	68,562	73,550	70,650	33,000	6,700	2,000
しらうお	数量	79.4	87.1	127.6	130.1	117.6	44.4	61.4
	金額	70,513	84,761	111,750	118,450	123,450	89,000	73,002
えび	数量	26.8	15.5	7.1	3.6	2.8	2.5	0.5
	金額	9,112	7,975	3,840	2,621	1,960	1,800	0
ふな	数量	2.5	0.8	3.0	1.5	1.5	0.0	0.7
	金額	1,750	60	600	350	350	0	160
どじょう	数量	2.7	3.2	1.5	2.2	2.1	1.2	1.3
	金額	5,025	3,150	3,255	3,000	3,000	2,500	3,200
こい	数量	3.0	7.4	8.1	10.0	13.0	10.0	13.1
	金額	2,100	3,310	3,800	4,900	5,800	4,800	1,244
うなぎ	数量	4.5	6.8	7.1	14.7	15.6	15.4	1.3
	金額	30,334	31,235	35,287	44,267	53,267	53,875	8,000
あゆ	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金額	0	0	0	0	0	0	0
アメリカナマズ	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金額	0	0	0	0	0	0	0
その他	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	金額	0	0	0	0	0	0	0
合計	数量	261.5	184.1	182.4	225.1	255.5	76.1	81.4
	金額	307,256	247,162	174,797	199,053	232,082	131,375	87,606

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表 20-2 令和6年魚種別活魚・鮮魚販売実績 単位: 上段 トン, 下段 千円

支部名 魚種 \ 支部名	土浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖南	北浦	合計	比率 (%)
わかさぎ	数量	0.0	0.0	2.0	0.0	0.1	2.1 2.6%
	金額	0	0	2,000	0	0	2,000 2.3%
しらうお	数量	0.0	16.5	44.3	0.0	0.6	61.4 75.4%
	金額	0	13,100	59,900	0	2	73,002 83.3%
えび	数量	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5 0.6%
	金額	0	0	0	0	0	0 0.0%
ふな	数量	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7 0.9%
	金額	0	0	160	0	0	160 0.2%
どじょう	数量	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3 1.6%
	金額	0	0	3,200	0	0	3,200 3.7%
こい	数量	0.0	0.0	9.3	0.0	3.8	13.1 16.1%
	金額	0	0	400	0	844	1,244 1.4%
うなぎ	数量	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3 1.6%
	金額	0	0	8,000	0	0	8,000 9.1%
あゆ	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0 0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0 0.0%
アメリカナマズ	数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0 0.0%
	金額	0	0	0	0	0	0 0.0%
その他	数量	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0 1.2%
	金額	0	0	0	0	0	0 0.0%
合計	数量	0.0	16.5	60.4	0.0	4.5	81.4 100.0%
	金額	0	13,100	73,660	0	846	87,606 100.0%
令和5年実績	数量	2.1	1.2	52.7	10.1	10.0	76.1 -
	金額	0	1,400	112,675	12,500	4,800	131,375 -

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

7 漁船と漁港・船溜

(1) 漁船

霞ヶ浦北浦における令和6年12月31日現在の漁船登録隻数は、505隻であり、すべてが動力漁船となっている（表21）。

動力漁船のトン数階層別構成は、1トン未満が187隻（37.0%）、1～3トン未満が294隻（58.2%）、3～5トン未満が23隻（4.6%）、5トン以上が1隻（0.2%）となっており、大半が3トン未満船である。

また、動力漁船の船質については、486隻（96.2%）がFRP船であり、残り17隻（3.4%）が木船、2隻（0.4%）が軽合金船である。

表21 霞ヶ浦北浦のトン数階層別漁船隻数

（単位：隻）

年 トン数	R2	R3	R4	R5	R6
1トン未満	224	214	208	198	187
1～3トン未満	358	342	326	319	294
3～5トン未満	28	26	27	26	23
5トン以上	1	1	1	1	1
合 計	611	583	562	544	505

（霞ヶ浦北浦水産事務所資料）

(2) 漁港・港湾・船溜

霞ヶ浦北浦には、第1種漁港が霞ヶ浦に10箇所、北浦（外浪逆浦及び湖沼を連絡する水路を含む）に1箇所、合計11箇所ある。そのほか、港湾が2箇所と船溜が150箇所整備されている（表22）。

表22 漁港、港湾、船溜の概要

（単位：箇所）

	漁港	港湾	船溜
霞ヶ浦	10	1	80
北浦	1	1	70
合 計	11	2	150

（霞ヶ浦北浦水産事務所、（独）水資源機構資料）



出漁を待つ漁船

8 水産業団体及び組合員

(1) 組合員

霞ヶ浦北浦地域における漁業協同組合の組合員数は、令和7年3月31日現在で霞ヶ浦地区が450人、北浦地区が208人の計658人となっている（表23）。

漁業形態は小型機船底びき網等の漁船漁業を中心となっている。また、業種別では小割式養殖漁業協同組合があり、組合員数は28人である。

これら漁業者の大多数は小規模経営で、多くは農業や他産業との兼業であり、全体的に高齢化が進むとともに漁業者数は年々減少しており、漁業経営の安定化、新規参入者の確保が課題となっている。

また、水産加工業協同組合の組合員数は令和7年3月31日現在で35人であり、一部の組合員は漁業との兼業を行っている。

(2) 水産業協同組合

①概況

昭和24年の水産業協同組合法施行に伴い、霞ヶ浦に27、北浦に14の地区漁業協同組合（以下「地区漁協」という。）が設立された。その後漁協合併が進められ、令和4年3月31日現在における地区漁協は霞ヶ浦地区が2団体、北浦地区が2団体となっている。このうち、霞ヶ浦の1団体、北浦の1団体は、市町村域を超える広域合併により誕生したものである。

この他に、業種別漁業協同組合（以下「業種別漁協」という。）が1団体、水産加工業協同組合（以下「水産加工協」という。）が1団体ある。業種別漁協はこれまで2団体が存在したが、そのうち真珠養殖漁業協同組合が平成21年1月に解散し、小割式養殖漁業協同組合のみとなった。また、水産加工協は平成17年8月1日に5加工協と1加工連が合併して1つになったものである。

なお、霞ヶ浦地区において地区漁協の指導的役割を果たしてきた霞ヶ浦漁業協同組合連合会は、平成22年7月22日付けの認可及び登記により霞ヶ浦漁業協同組合がその権利義務を包括承継することになった。

表23 水産業協同組合の推移（令和7年3月31日時点）

		組合数					組合員数(人)				
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
単協	霞ヶ浦地区漁協	2	2	2	2	2	538	509	479	460	450
	北浦地区漁協	2	2	2	2	2	242	237	225	215	208
	業種別漁協	1	1	1	1	1	32	31	30	29	28
	水産加工協	1	1	1	1	1	46	46	43	39	35
	計	6	6	6	6	6	858	823	777	743	721

（霞ヶ浦北浦水産事務所資料）

②事業状況

霞ヶ浦北浦の地区漁協は、一般的な海面のような産地市場が存在しないことから、漁業調整関係や資源管理関係などの指導事業を主に実施している。また、平成 22 年を境に、これまでの法令規制主導型の漁業制度から、自主規制を主体とした漁業者自身による「自主的な漁業管理体制」へと移行したこともあり、中心的存在としても重要な役割を果たしている。

水産加工協は、霞ヶ浦北浦湖岸に所在する水産加工業者間の連絡・調整及び情報交換等を行うとともに、県内外のイベント等に参加・出店して展示即売会を行うなど、水産加工製品の PR 及び消費拡大に努めている。

③漁協合併

霞ヶ浦及び北浦地区においては、平成元年から 1 市町村 1 漁協を目標として、合併計画が進められてきたが、全漁連が平成 8 年 12 月に 1 県 1 漁協の方針を打ち出したことを受け、本県においては、水産庁の主導のもと、沿海、霞ヶ浦、北浦の各地区で漁協一本化を行うため、平成 10 年 3 月に「茨城県漁協経営強化基本方針」を、平成 14 年 3 月には「茨城県漁協組織・事業基盤強化基本方針」を策定した。

これらの基本方針を受け、霞ヶ浦及び北浦地区では、平成 18 年度を目標に両地区的漁連が主体となり、広域合併に向けた作業を進めた結果、北浦地区においては平成 13 年 12 月に北浦漁連と 6 漁協（麻生町大和、北浦村、鉾田町、大洋、大野北浦、鹿島）による合併が基本合意に至り、平成 14 年 6 月 1 日に「きたうら広域漁業協同組合」が設立された。

一方、霞ヶ浦地区においても、霞ヶ浦漁連傘下の 15 漁協が合併の協議を進めてきた結果、麻生漁協以外の 14 漁協が合併に合意し、平成 21 年 9 月の合併仮契約締結と各漁協の総会議決の後、平成 22 年 1 月 15 日付けの認可及び同月 22 日の登記を経て「霞ヶ浦漁業協同組合」が設立された。

霞ヶ浦漁協の合併に先だって麻生漁協が霞ヶ浦漁連を脱退し、会員が 1 団体になったことにより同漁連の権利義務を合併漁協が包括承継できる条件が整ったため、両者の総会決議を経て平成 22 年 7 月 22 日付けの認可及び登記により承継が成立した。

なお、近年はいずれの組合においても組合員数が減少していることから、合併や事業連携等により、合理化・効率化を進めて経営基盤強化を図る必要性が高まっている。

④加工協合併

霞ヶ浦北浦地区では、昭和 26 年～45 年の期間に 6 加工協が設立された。その後、1 団体が解散し、残り 5 加工協によって当初は任意団体として組織された連合会が、昭和 58 年に水産業協同組合法に基づく水産加工業協同組合連合会となり、長らく活動してきた。その後、同連合会が中心となり、平成 15 年 6 月から進めていた 5 加工協（土浦、かすみがうら市、霞ヶ浦、霞ヶ浦湖南、北浦）の合併に向けた協議が合意に至り、平成 17 年 8 月 1 日付けの認可及び同月 11 日の登記により、「霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合」が設立された。この団体は、連合会の権利義務を承継した霞ヶ浦北浦地区唯一の加工組合となった。

(3) その他の団体

・霞ヶ浦北浦水産振興協議会

霞ヶ浦北浦沿岸市町村と漁協及び加工協等を会員とし、地元水産業団体と市町村の連携を円滑にして、霞ヶ浦北浦の水産業の振興を図るために次の各種事業活動を行っている。

啓発指導事業………霞ヶ浦北浦の水産資源の保護育成や水産物の消費拡大のため必要な事業に対する経費の一部助成、同じく販売促進のための資材の作成など

教育広報事業………機関誌「霞北水産だより」及び協議会ホームページ作成による水産に関する情報提供や、小学生などを主な対象とした啓発資料作成など

(HP : <http://www.kasumikita-sinkou.jp/index.html>)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 14
霞ヶ浦北浦水産振興協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

この一冊の話題……………P. 2
令和6年1月～12月のトピール着度確…P. 4
シラウオの種類について……………P. 5
霞ヶ浦北浦の沿岸漁業委員会……………P. 6
霞ヶ浦北浦漁業委員会委員長：荒城知海正利（前議会）……………P. 8
受賞おめでとうございます！～令和6年度茨城県水産製品品評会～……………P. 8
賞賛例文議会の開会とワカサギ・シラウオ賞賛伝達の収録について……………P. 10
釣りのルール・講習会について……………P. 10
【お問い合わせ】
・有効期限満了に伴う届出許可済みの申請手続について……………P. 11
・漁船登録に該するお問い合わせ……………P. 11
・水産物における品質評定の検査結果等について……………P. 12
・令和7年度 荒城県水産振興担当者一覧……………P. 12



●霞ヶ浦北浦の魚が食べられる店

下記のボタンをクリックして下さい。 ■Google Mapから探す

ワカサギ **シラウオ** **コイ** **その他**

●霞ヶ浦北浦の魚(加工品・鮮魚(生・冷凍)など)が買える店

下記のMAPをクリックして下さい。 ■Google Mapから探す

霞ヶ浦北浦水産振興協議会
霞ヶ浦北浦はおむじゆいお魚の宝庫です！

この一冊の話題……………P. 2
令和6年1月～12月のトピール着度確…P. 4
シラウオの種類について……………P. 5
霞ヶ浦北浦の沿岸漁業委員会……………P. 6
霞ヶ浦北浦漁業委員会委員長：荒城知海正利（前議会）……………P. 8
受賞おめでとうございます！～令和6年度茨城県水産製品品評会～……………P. 8
賞賛例文議会の開会とワカサギ・シラウオ賞賛伝達の収録について……………P. 10
釣りのルール・講習会について……………P. 10
【お問い合わせ】
・有効期限満了に伴う届出許可済みの申請手続について……………P. 11
・漁船登録に該するお問い合わせ……………P. 11
・水産物における品質評定の検査結果等について……………P. 12
・令和7年度 荒城県水産振興担当者一覧……………P. 12

旬の話題

- 2023/11/1 行方市水産業課課長が異動されました！
- 2023/10/27 各務原市にて「秋の祭典」が開催されました！
- 2023/10/6 「まち盛り開拓会」が開催されました！
- 2023/7/9 夏のひさま「ナツカタ」の紹介です！

当会に置いて **漁の場ご紹介** **漁業** **加工業**

- 当会の目的
- 当会の組織
- 当会の活動
- ゴロ
- コハセギ
- シラウオ
- シナガエビ
- アフ
- ウナギ
- アメカジマス
- コノ
- アブ
- ウナギ
- アメカジマス
- 霞ヶ浦北浦の水あげ工品
- 仙臺が出来るまで

霞ヶ浦北浦の味わいマップ

霞ヶ浦北浦の魚が食べられる店・買える店

検索

9 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会等の概要

(1) 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会

海区漁業調整委員会は、漁業法及び地方自治法に基づき、農林水産大臣が定める「海区」ごとに設置され、その設置された海区内における漁業に関する事項を処理する行政委員会である。その権限及び機能は、漁業法や水産資源保護法、県漁業調整規則等に定められており、諮問機関、建議機関、決定機関等として広範な権限を有している。

霞ヶ浦北浦は漁業法に基づく海区指定を受け、昭和 25 年 8 月に霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会が設置された。現在の委員は第 23 期に当たり、漁業法に基づき、公募の後、県議会の同意を得て知事に任命された。その構成は、漁業者委員 7 名、中立委員 3 名、学識経験委員 2 名の計 12 名で、任期は 4 年である。事務局は県土浦合同庁舎内に置かれ、職員 2 名が配置されている。

令和 6 年度の活動内容の主なものとして、第 1 種区画漁業（小割式養殖業）の免許や漁業許可の制限措置等について決定した。また、令和 6 年 12 月 6 日に霞ヶ浦河川事務所波崎出張所において、委員会とともに常陸川水門操作室、魚道、閘門の視察研修会を開催した。

表 24 各年度の漁業調整委員会の開催状況

	R2	R3	R4	R5	R6
委員会	6	7	8	8	8
公聴会	—	—	1	1	—
協議会	1	—	—	—	—
計	7	7	9	9	8

なお、落とし網漁業を引き続き委員会承認漁業とし、有効期間を令和 11 年 8 月 31 日までとする委員会指示を令和 6 年 6 月 3 日に発出した。

表 25 委員会指示の概要

承認漁業	承認面数(面)	承認者数(名)	有効期間
落とし網	94	19	令和 6 年 9 月 1 日から令和 11 年 8 月 31 日まで

第 23 期 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員(任期:令和 7 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日)

区分	氏名	所属
会長 漁業者委員	鈴木 幸雄	漁業（霞ヶ浦漁協 代表理事組合長）
会長代理 漁業者委員	海老澤 武美	漁業（きたうら広域漁協 代表理事組合長）
漁業者委員	坂本 隆夫	漁業（麻生漁協 代表理事組合長）
学識経験委員	古家 晴美	日本国際学園大学 教授
中立委員	石本 恵子	割烹旅館いづみ荘 女将
中立委員	山口 晴代	国立環境研究所 主幹研究員
学識経験委員	菅澤 英子	元霞ヶ浦漁協 事務長
漁業者委員	小原 一八	漁業（きたうら広域漁協 副組合長理事）
漁業者委員	大崎 匠	漁業（霞ヶ浦漁協 理事）
漁業者委員	樽見 由紀	有限会社タルミ 役員
中立委員	戸田 弘美	株式会社出羽屋 代表取締役社長
漁業者委員	中泉 義美	漁業（霞ヶ浦漁協 理事）

令和 7 年 8 月 1 日現在

(2) 茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会

漁業と遊漁及び海洋性レクリエーションとの円滑な海面利用の調整を図るため、平成6年度に漁場利用審議会を発展的に改組し、新たに海面利用協議会を設置した。

本協議会には、海区別に部会が設置され、霞ヶ浦北浦海区には、霞ヶ浦北浦海区部会が設置されている。本部会は知事から委嘱された7人の委員（漁業関係委員2人、遊漁関係委員2人、海洋性レクリエーション関係委員1人、学識経験委員2人）で構成され、現在の委員は第15期に当たり、任期は2年である。

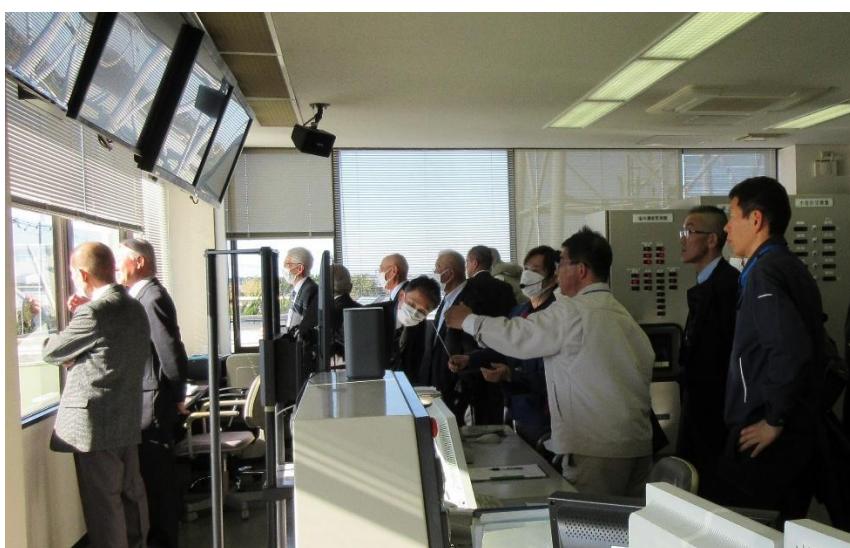
令和6年度の霞ヶ浦北浦海区部会は令和6年8月28日に開催し、霞ヶ浦北浦海区における漁業と遊漁の現状などについて協議を行った。また、部会終了後、県水産事務所主催の「第6回霞ヶ浦北浦の釣りのルール講習会」に協議会として参加し、水産事務所とともに約18名の参加者（会場参加及びWEB参加）に対し、漁業者と遊漁者がお互いに安全に霞ヶ浦北浦を利用できるよう釣りのルールやマナーの周知を行った。

また、その後の意見交換では、参加した遊漁関係者や漁業関係者ともに活発な意見交換を行い、相互理解を深めることができた。

第15期 霞ヶ浦北浦海区部会委員（任期：令和5年9月1日～令和7年8月31日）

区分	氏名	備考
学識経験	野内 孝則	部会長
学識経験	清水 康	部会長代理
遊漁関係	赤津 友海	
漁業関係	伊藤 義男	
漁業関係	菅谷 美尚	
海洋性レク	高野 利夫	
遊漁関係	三村 陽子	

令和7年8月1日現在



視察研修会の様子

10 霞ヶ浦北浦に関わる県の機関及び各種団体

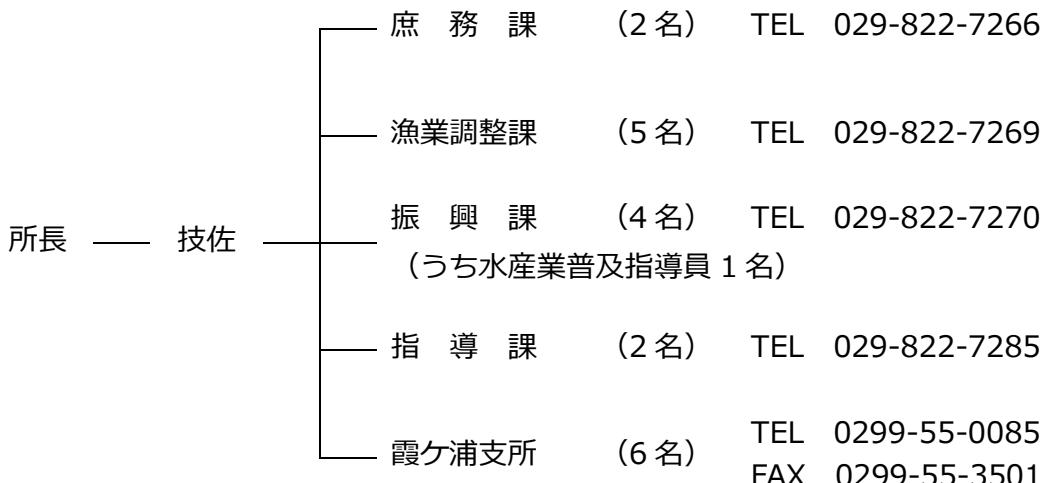
(1) 県の機関

①茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所 (21名、うち水産業普及指導員1名)

〒300-0051 土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7266

FAX 029-822-0848



②霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会 (委員12名) 事務局 (2名)

茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会 (委員7名)

〒300-0051 土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7287

FAX 029-822-0848

(2) 住所録

令和7年8月1日現在

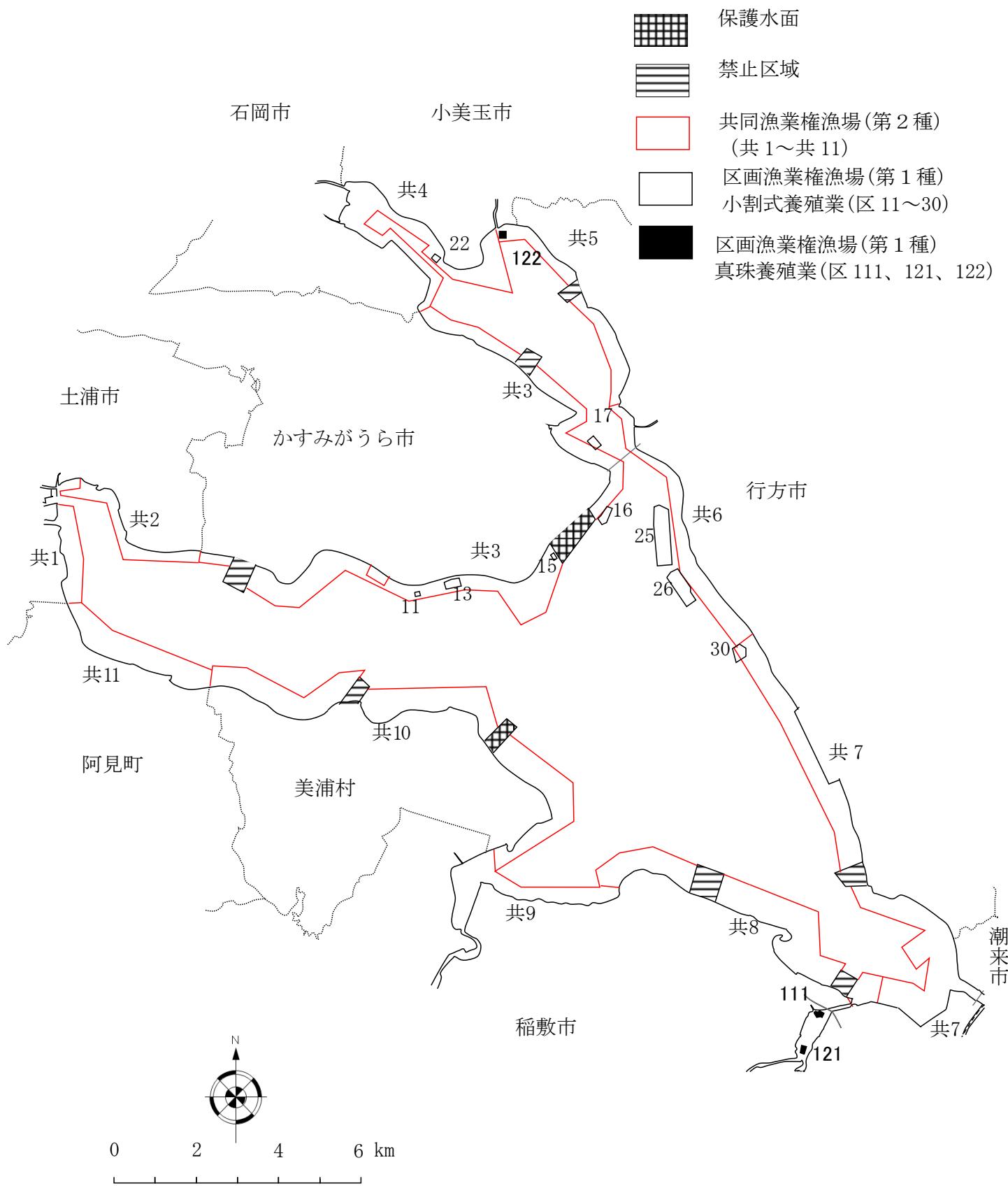
団体名	住所	電話番号 F A X
【霞ヶ浦地区 漁業協同組合】		
霞ヶ浦	311-3512 行方市玉造甲 1560-6	0299-55-0057 0299-55-0881
麻生	311-3832 行方市麻生 163-1	0299-72-0416 (FAX兼用)
【北浦地区 漁業協同組合】		
きたうら広域	311-3823 行方市白浜 1570	0299-73-3037 0299-73-3280
潮来	311-2406 潮来市新宮 1942	0299-66-2711 (FAX兼用)
常陸川	314-0114 神栖市日川 3744	0299-96-0903 (FAX兼用)

団体名	住所	電話番号 F A X
【業種別 漁業協同組合】		
霞ヶ浦北浦 小割式養殖	311-3513 行方市手賀 786-3	0299-55-0289 0299-55-0244
【水産加工業協同組合】		
霞ヶ浦北浦	300-0134 かすみがうら市深谷 2964-7 かすみがうら市商工会 霞ヶ浦支所内	029-897-0055 029-897-0956
【霞ヶ浦北浦関係市町村】		
土浦市	300-8686 土浦市大和町 9-1	029-826-1111 029-823-9220
石岡市	315-0195 石岡市柿岡 5680-1 (八郷総合支所)	0299-43-1111 0299-43-6384
鹿嶋市	314-8655 鹿嶋市大字平井 1187-1	0299-82-2911 0299-84-1213
潮来市	311-2493 潮来市辻 626	0299-63-1111 0299-80-1100
稻敷市	300-0595 稻敷市犬塚 1570-1	029-892-2000 029-893-1554
かすみがうら市	300-0192 かすみがうら市大和田 562(霞ヶ浦庁舎)	029-886-3305 029-897-1243
小美玉市	319-0192 小美玉市堅倉 835	0299-48-1111 0299-48-1199
鉾田市	311-1592 鉾田市鉾田 1444-1	0291-36-7651 0291-32-2128
神栖市	314-0408 神栖市波崎 6530 (波崎総合支所)	0479-44-1966 0479-44-5134
行方市	311-1792 行方市山田 2564-10 (北浦庁舎)	0291-35-2111 0291-35-2826
美浦村	300-0492 稻敷郡美浦村大字受領 1515	029-885-0340 029-885-4953
阿見町	300-0392 稻敷郡阿見町中央 1-1-1	029-888-1111 029-887-9560
【水産関連団体・漁業協同組合連合会】		
霞ヶ浦北浦 水産振興協議会	300-0051 土浦市真鍋 5-17-26 土浦合同庁舎霞ヶ浦北浦水産事務所内	029-822-7285 029-822-0848
茨城沿海地区 漁業協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-224-5151 029-224-0070
東日本信用漁業協同 組合連合会 茨城支店	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-221-6281 029-226-4307
茨城県水産加工業 協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-8004 029-224-5186
茨城県 水産物開発普及協会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-8004 029-224-5186

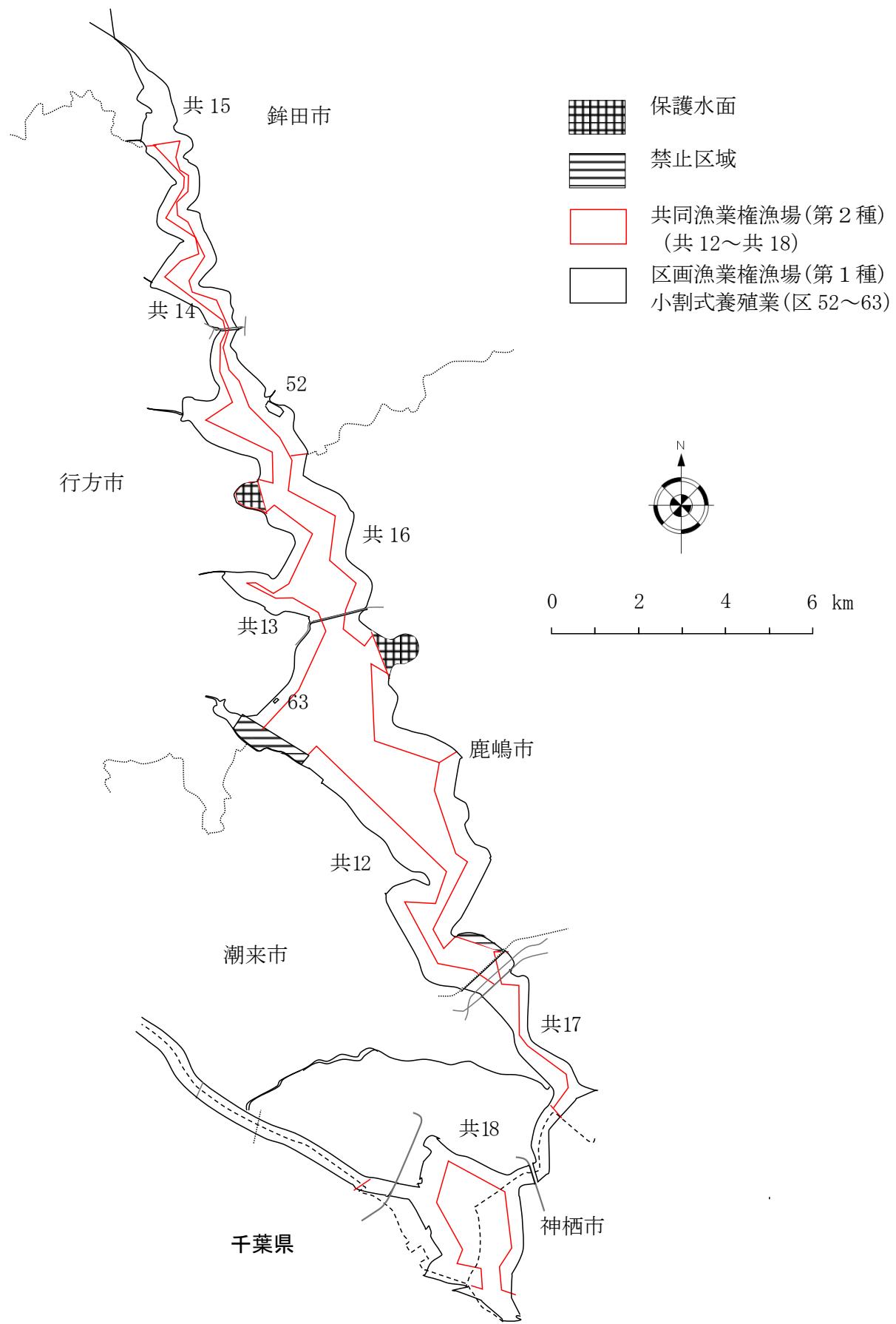
団体名	住所	電話番号 F A X
全国合同漁業共済組合 茨城県事務所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-225-1036 029-222-1031
全国共済水産業 協同組合連合会 関東東海事業本部 茨城支店	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-225-2036 029-231-7668
日本漁船保険組合 茨城県支所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-221-8526 029-231-9365
全国漁業信用基金協会 茨城支所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-0717 029-231-0342
【茨城県】		
漁政課	310-8555 水戸市笠原町 978-6	029-301-4066 029-301-4089
水産振興課	310-8555 水戸市笠原町 978-6	029-301-4114 029-301-4129
霞ヶ浦北浦 水産事務所	300-0051 土浦市真鍋 5-17-26	029-822-7266 029-822-0848
霞ヶ浦支所	311-3512 行方市玉造甲 1560	0299-55-0085 0299-55-3501
水産試験場	311-1203 ひたちなか市平磯町三ツ塚 3551-8	029-262-4158 029-263-2058
内水面支場	311-3512 行方市玉造甲 1560	0299-55-0324 0299-55-1787
【国等関係機関】		
農林水産省関東農政局 茨城県拠点	310-0061 水戸市北見町 1-9	029-221-2184 029-225-6253
国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所	311-2424 潮来市潮来 3510	0299-63-2411 0299-62-4652
波崎出張所	314-0254 神栖市太田 3109	0479-46-0101 0479-46-3161
土浦出張所	300-0822 土浦市蓮河原町 4497	029-821-2155 029-822-8510
鉾田出張所	311-1517 鉾田市鉾田 1066	0291-32-3381 0291-33-5567
麻生出張所	311-3832 行方市麻生 1570-1	0299-72-1428 0299-72-0088
(独)水資源機構 利根川下流 総合管理所	300-0732 稻敷市上之島 3112	0299-79-3311 0299-79-3316

11 霞ヶ浦北浦海区の漁場図(霞ヶ浦)

(令和7年8月1日現在)



11 霞ヶ浦北浦海区の漁場図(北浦) (令和7年8月1日現在)



12 霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移①(S29~S63)

魚種別										単位:トン					漁業種類別					単位:トン		
年	総漁獲量	ワカサギ	シラウオ	ハゼ類	エビ類	コイ	フナ	シジミ	イサザアミ					底びき網			刺網	張網	採貝			
		トロール	横ひき	帆びき										トロール	横ひき	帆びき						
S29	7,187	1,514	321	411	203	200	471		1,400		7,187			1,691	1,325	240	709	324				
30	6,162	1,383	441	582	490	156	429		1,549		6,162			1,889	1,539	152	646	155				
31	6,627	1,185	364	501	459	125	481		2,013		6,627			2,249	1,164	136	755	144				
32	6,787	901	297	520	435	75	462		3,201		6,787			3,542	971	140	659	270				
33	7,275	1,286	507	566	356	54	369	860	2,327		7,275			2,574	1,439	108	749	1,123				
34	8,513	1,036	277	487	210	130	485	2,585	2,371		8,513			2,547	998	193	834	2,743				
35	7,417	894	486	846	269	97	467	1,207	2,086		7,417			2,366	1,112	130	1,039	1,493				
36	8,776	556	573	1,129	1,050	116	627	1,475	2,122		8,776			2,504	1,315	219	1,553	1,719				
37	8,214	951	455	578	1,042	142	806	1,284	1,589		8,214			1,836	1,259	236	1,511	1,777				
38	10,946	1,809	433	793	579	169	787	3,095	698		10,946			931	1,564	268	1,771	4,939				
39	6,906	1,570	313	755	331	200	690	799	1,214		6,906			1,305	1,257	328	1,378	1,241				
40	10,648	2,595	228	719	311	272	960	1,920	1,064		10,648			1,328	1,861	562	1,747	3,640				
41	11,560	2,420	416	1,065	602	260	847	2,918	1,623		11,560			1,840	2,214	854	1,747	3,333				
42	13,596	1,395	217	1,966	1,485	349	1,272	3,056	966		13,596			1,129	1,391	1,866	3,917	3,695				
43	14,252	665	199	3,207	1,551	530	1,390	2,096	2,968		14,252			1,852	2,267	90	1,049	4,480	2,499			
44	13,661	405	144	4,020	1,914	486	1,261	2,041	1,658		13,661			1,603	1,786	19	914	5,244	2,435			
45	15,514	772	342	2,964	2,348	682	1,512	3,517	1,843		15,514			2,928	1,306	25	1,090	4,100	3,848			
46	15,599	425	175	3,042	4,011	869	1,587	2,732	879		15,599			2,102	1,000	19	1,154	5,463	3,558			
47	13,376	606	200	2,155	3,911	785	1,628	1,728	1,400		13,376			3,076	1,068	25	762	4,495	1,984			
48	13,395	238	160	3,688	3,383	1,067	1,484	1,818	866		13,395			2,300	1,513	35	1,007	5,048	1,966			
49	13,726	923	157	1,571	3,636	1,200	1,332	2,271	1,735		13,726			1,504	2,793	13	1,224	4,676	1,244			
50	16,954	570	92	3,897	4,972	1,718	1,488	1,233	1,817		16,954			2,827	3,379	15	1,834	6,500	1,265			
51	15,650	570	69	2,309	3,250	1,723	1,842	1,170	3,515		15,650			1,776	4,844	41	1,538	4,995	1,240			
52	15,068	1,121	78	2,347	4,120	1,194	1,198	1,046	1,710		15,068			1,321	4,153	179	1,857	5,075	994			
53	17,487	358	30	4,734	4,764	1,250	1,127	1,796	1,631		17,487			3,297	3,674	105	1,856	5,668	1,558			
54	13,778	829	24	2,479	4,119	1,422	1,340	749	1,522		13,778			1,860	3,127	402	1,383	4,962	668			
55	12,805	399	40	2,619	3,656	1,643	1,129	491	1,833		12,805			758	4,556	106	1,438	4,426	396			
56	12,080	211	53	2,946	3,285	1,221	884	295	1,899		12,080			534	5,153	44	1,460	3,726	327			
57	12,238	418	97	3,021	3,577	1,128	710	510	1,809		12,238			692	5,362	146	1,287	3,605	578			
58	11,069	695	152	1,644	3,011	744	639	315	2,037		11,069			900	4,573	29	1,838	2,640	324			
59	7,367	1,570	315	1,010	2,102	675	579	157	333		7,367			2,617	1,082	6	706	2,404	197			
60	10,244	1,091	192	2,012	3,094	804	578	106	1,739		10,244			2,600	3,541		729	2,909	107			
61	8,224	1,216	213	1,386	2,318	773	576	104	697		8,224			1,803	2,263		1,018	2,681	128			
62	8,525	473	88	2,697	2,245	747	434	19	1,015		8,525			1,940	3,191		1,100	1,940	23			
63	7,520	323	81	1,513	2,315	693	403	60	1,250		7,520			1,339	2,851		1,151	1,865	67			

(茨城農林水産統計年報(関東農政局))

12 霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移②(H元～R5)

魚種別										漁業種類別				単位:トン			
年	総漁獲量	ワカサギ	シラウオ	ハゼ類	エビ類	コイ	フナ	シジミ	イサザアミ	年	総漁獲量	トロール	横ひき	帆びき	刺網	張網	採貝
H元	6,859	457	80	1,394	2,855	535	278	4	825	H元	6,859	2,088	2,104		591	1,860	4
2	5,405	463	110	1,401	1,924	452	240	0	612	2	5,405	1,963	1,643		392	1,248	0
3	5,821	530	184	929	2,242	490	223		1,036	3	5,821	2,255	1,999		425	989	
4	5,109	400	209	1,330	1,981	462	156		387	4	5,109	2,644	1,228		405	711	
5	5,214	420	178	978	1,886	492	152		974	5	5,214	1,817	2,196		400	683	
6	4,576	289	200	950	2,111	489	119		242	6	4,576	1,516	1,456		364	1,062	
7	4,422	237	244	714	2,003	496	126		416	7	4,422	1,695	1,408		375	895	
8	4,109	259	294	832	1,527	427	121		348	8	4,109	1,722	1,102		390	826	
9	4,263	352	345	594	1,636	306	133		534	9	4,263	1,925	1,275		441	562	
10	2,998	160	134	411	1,201	284	86		367	10	2,998	1,072	986		416	466	
11	2,969	70	119	315	1,404	253	72		210	11	2,969	1,206	826		370	521	
12	2,416	51	95	244	1,097	230	110		280	12	2,416	884	772		328	393	
13	2,063	65	268	140	724	241	109		114	13	2,063	869	365		446	290	
14	1,747	55	81	133	521	251	122		210	14	1,747	579	371		428	338	
15	1,422	106	130	120	331	116	90		168	15	1,422	512	303		289	295	
16	1,794	71	103	426	679	54	48		229	16	1,794	951	429		105	278	
17	2,061	186	79	371	518	119	66		184	17	2,061	703	444		232	267	
18	1,740	123	127	104	551	69	45		73	18	1,740	872	171		383	293	
19	2,591	227	165	152	603	66	49		※1	19	2,591	1,650	※2		584	335	
20	2,068	134	190	76	491	62	40			20	2,068	1,232			497	286	
21	2,238	456	179	94	322	47	40			21	2,238	1,393			462	347	
22	2,218	520	83	55	497	29	35			22	2,218	1,293			547	355	
23	1,874	410	124	32	515	26	28			23	1,874	1,210			356	299	
24	646	227	116	9	276	0	3			24	646	631			8	5	
25	939	231	139	8	269	5	-			25	939	915			2	23	
26	860	242	124	8	246	5	-			26	860	847			0	13	
27	886	273	162	8	242	1	6			27	886	880			0	5	
28	882	117	159	9	241	-	2			28	882	873			1	5	
29	886	117	211	15	221	3	2			29	886	878			2	6	
30	849	98	176	10	253	2	3			30	849	839			2	7	
R元	729	119	161	2	133	2	3			R元	729	710			2	17	
2	670	73	187	1	87	2	3			2	670	618			2	51	
3	593	34	152	0	36	2	4			3	593	543			2	47	
4	498	17	150	0	19	2	4			4	498	442			2	54	
5	552	4	37	2	79	2	5			5	552	480			1	70	

※1 平成19年からイサザアミはその他

※2 平成19年からトロール、横ひきは底びき網

(茨城農林水産統計年報(関東農政局))
(漁業・養殖業生産統計(農林水産省))